

# 平成26年度府中市次世代育成支援 行動計画事業の進捗状況等報告書

府中市



## 目 次

- 1 報告書の概要 ... 1 ページ

- 2 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等（特定事業） ... 3 ページ

事業区分	事業No	事業名	ページ
特定	1	新生児訪問（乳児家庭全戸訪問）	4
特定	2	育児支援家庭訪問事業	5
特定	3	ファミリー・サポート・センター事業	6
特定	4	ショートステイ	7
特定	5	トワイライトステイ	8
特定	6	子育てひろば事業（地域子育て支援拠点事業）	9
特定	7	一時預かり・特定保育	10

- 3 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等（新規・重点事業） ... 11 ページ

（目標1 子育て不安の解消）

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	1	母子健康手帳の配布		12
重点	2	新生児訪問（乳児家庭全戸訪問）	再掲	13
重点	3	乳幼児訪問		14
重点	4	3～4か月児健康診査・産婦健康診査		15
重点	5	1歳6か月児健康診査		16
重点	6	3歳児健康診査		17
重点	7	子育て情報の提供		18
重点	8	多様な手段による情報提供		19
新規	9	子育てサイトの充実		20
重点	10	子ども家庭支援センター「たっち」における情報提供		21
重点	11	児童館における情報提供		22
重点	12	障害者相談支援事業		23
重点	13	子育てひろば事業（地域子育て支援拠点事業）	再掲	24
重点	14	地域子育て支援（子育てひろば）事業		25
重点	15	子育て地域交流事業		26
重点	16	公会堂を利用した自主活動の場づくり		27
重点	17	児童館の活用		28
重点	18	子どもと家庭の総合相談		29
重点	19	地域子育てクラス		30
重点	20	虐待予防		31
重点	21	児童虐待の相談・対応		32
重点	22	DV防止の情報・資料の収集と提供		33
重点	23	女性に対する暴力をなくす運動事業		34
重点	24	親支援事業		35
重点	25	育児支援家庭訪問事業	再掲	36

(目標2 地域における子育て支援)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
新規	26	小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」		37
重点	27	子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)	再掲	38
重点	28	地域子育て支援(子育てひろば)事業	再掲	39
重点	29	子育て地域交流事業	再掲	40
重点	30	公会堂を利用した自主活動の場づくり	再掲	41
重点	31	児童館の活用	再掲	42
重点	32	児童館における情報提供	再掲	43
重点	33	市立幼稚園園庭開放		44
重点	34	おはなし会		45
重点	35	ちいさい子のためのおはなし会		46
重点	36	赤ちゃん絵本文庫		47
重点	37	図書館サービス		48
重点	38	公園・緑地		49
重点	39	子育て関連団体と地域とのネットワーク化		50
重点	40	子育てボランティアの育成講座		51
重点	41	ファミリー・サポート・センター事業	再掲	52
新規	42	子ども手当		53

(目標3 保育サービスの充実)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	43	認可保育所		54
重点	44	障害児保育		55
重点	45	認可外保育所(認証・保育室等)		56
重点	46	病児・病後児保育		57
重点	47	一時預かり・特定保育	再掲	58
重点	48	ファミリー・サポート・センター事業	再掲	59
重点	49	トワイライトステイ	再掲	60
重点	50	延長保育		61
新規	51	保育所における質の向上のための取り組み (アクションプログラム)		62
重点	52	市立幼稚園園庭開放	再掲	63
重点	53	市立幼稚園障害児保育		64

(目標4 母と子どもの健康支援)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	54	新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)	再掲	65
重点	55	乳幼児訪問	再掲	66
重点	56	3~4か月児健康診査・産婦健康診査	再掲	67
重点	57	1歳6か月児健康診査	再掲	68
重点	58	3歳児健康診査	再掲	69
重点	59	母子健康手帳の配布	再掲	70
新規	60	子育てサイトの充実	再掲	71
重点	61	子育て情報の提供	再掲	72
重点	62	児童館における情報提供	再掲	73
重点	63	地域子育てクラス	再掲	74
重点	64	妊婦健康診査		75
重点	65	発達健康診査		76

(目標5 ひとり親家庭への支援)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	66	母子自立支援の相談		77
重点	67	ひとり親(母子・父子)家庭ホームヘルプサービス		78
重点	68	児童扶養手当		79

(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	69	障害者相談支援事業	再掲	80
重点	70	3～4か月児健康診査・産婦健康診査	再掲	81
重点	71	1歳6か月児健康診査	再掲	82
重点	72	3歳児健康診査	再掲	83
重点	73	発達健康診査	再掲	84
重点	74	障害児保育	再掲	85
重点	75	市立幼稚園障害児保育	再掲	86
重点	76	学童クラブ		87
重点	77	新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)	再掲	88
重点	78	乳幼児訪問	再掲	89
重点	79	児童扶養手当	再掲	90

(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	80	青少年健全育成協調事業		91
重点	81	健康教育		92
重点	82	性教育		93
重点	83	子育て情報の提供	再掲	94
重点	84	いじめ、不登校、問題行動等への対応		95
重点	85	少人数指導等事業		96
重点	86	小学校国際理解教育		97
重点	87	学校教育ネットワーク		98
重点	88	情報化社会における教育の充実		99
重点	89	職業観、就労意識の育成		100
重点	90	学校図書館		101
重点	91	八ヶ岳移動教室(セカンドスクール)		102
重点	92	青少年健全育成市民活動		103
重点	93	中学校部活動外部指導員		104
重点	94	放課後子ども教室事業		105
重点	95	児童館の活用	再掲	106
重点	96	学童クラブ	再掲	107
新規	97	小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」	再掲	108
重点	98	中高生ひろば事業		109
重点	99	子どもふれあいボランティア		110
重点	100	おはなし会	再掲	111
重点	101	ちいさい子のおはなし会	再掲	112
重点	102	赤ちゃん絵本文庫	再掲	113
重点	103	図書館サービス	再掲	114
重点	104	ジュニアスポーツ指導者育成		115

(目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	105	ワーク・ライフ・バランス啓発事業		116
新規	106	一般事業主行動計画策定の推進		117
重点	107	特定事業主行動計画の推進		118
重点	108	子育て関連団体と地域とのネットワーク化	再掲	119

(目標9 安全・安心まちづくりの推進)

事業区分	事業No	事業名	再掲	ページ
重点	109	ユニバーサルデザインの推進		120
新規	110	キッズデザインの啓発		121
重点	111	自転車の安全利用の推進		122
重点	112	学校施設整備		123
重点	113	公園・緑地	再掲	124

4 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等(評価指標)

... 125ページ

5 参考(府中市子ども・子育て審議会について)

... 129ページ

# 1 報告書の概要

## (1) 作成の経過

本報告書は、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画として策定した府中市次世代育成支援行動計画〔後期計画〕(平成22年度～平成26年度)(以下「行動計画」という。)の実施状況について、同法に基づき広く公表することを目的に作成したものです。行動計画において重点事業又は新規事業と位置付けた事業の平成26年度の実績や取組内容とそれに対する担当課の評価等を取りまとめ、本市の附属機関である府中市子ども・子育て審議会に報告のうえ作成しました。

## (2) 評価項目

行動計画に掲げた事業及び評価指標について、国が指定した特定事業、行動計画に定める目標を達成するために取り組むべき重点事業及び新規事業並びに評価指標に分けて、担当課による自己評価を行いました。

### ア 国が指定した特定事業(括弧内は国の事業名)

新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業)

育児支援家庭訪問事業(養育支援訪問事業)

ファミリー・サポート・センター事業

ショートステイ事業

トワイライトステイ事業

子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)

一時預かり・特定保育(一時預かり事業)

### イ 行動計画に定める重点事業及び新規事業

目標1 子育て不安の解消(25事業(うち再掲載3事業))

目標2 地域における子育て支援(17事業(うち再掲載7事業))

目標3 保育サービスの充実(11事業(うち再掲載4事業))

目標4 母と子どもの健康支援(12事業(うち再掲載10事業))

目標5 ひとり親家庭への支援(3事業)

目標6 障害のある子どもと家庭への支援(11事業(うち再掲載10事業))

目標7 次代を担う人の育成と教育の充実(25事業(うち再掲載8事業))

目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進(4事業(うち再掲載1事業))

目標9 安全・安心のまちづくりの推進(5事業(うち再掲載1事業))

ウ 行動計画の成果を段階的に把握できるよう設定された評価指標（当該年度では数値を得ることのできない一部の評価指標を除く）

○全体（2指標）

目標1 子育て不安の解消（7指標）

目標2 地域における子育て支援（4指標）

目標3 保育サービスの充実（5指標）

目標4 母と子どもの健康支援（5指標（うち再掲載3指標））

目標5 ひとり親家庭への支援（4指標）

目標6 障害のある子どもと家庭への支援（4指標（うち再掲載3指標））

目標7 次代を担う人の育成と教育の充実（4指標）

目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進（平成26年度は該当指標なし）

目標9 安全・安心のまちづくりの推進（2指標）

（3）その他

ア 「府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等」の一覧表に記載されている「策定時目標」については、平成21年度（平成22年3月）に行動計画を策定した時点で掲げた平成26年度の目標値です。

イ 「府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等」の一覧表に記載されている「目標達成状況」の評価基準は次のとおりです。

評価基準

0点...当初計画に掲げた事業に着手することができなかった。

1点...当初計画から大幅な変更や遅れがあり、目標を達成することができなかった。

2点...当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。

3点...当初計画どおりに目標を達成することができた。

4点...当初計画の目標を超える成果を得ることができた。

## 2 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等(特定事業)

-特定事業-

1 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)		(特定事業)					健康推進課					
		生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるよう支援し、児童虐待の予防を図ります。					重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績		策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実施目標	実績	実施目標	実績			
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員 2,172人 延人員 2,265人	新生児訪問 実人員 2,058人 延人員 2,164人	新生児訪問 実人員 2,119人 延人員 2,301人	新生児訪問 実人員 2,209人 延人員 2,335人	新生児訪問 実人員 2,250人 延人員 2,350人	新生児訪問 実人員 1,955人 延人員 2,389人	4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問及び必要な家庭への支援				
平成26年度の 担当課評価	新生児訪問時の状況により、必要な場合には、新生児訪問を担当した者がその後も訪問を行うなど継続性のある支援に取り組みました。未熟児の訪問件数(平成25年度延86件、26年度延102件)が増え、個々の発育状況に合わせた、より個別性の高い支援が求められています。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<p>目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p> <p>3 当初計画どおりに目標を達成することができた。</p>											
備考	訪問対象者数 訪問員(市職員) 訪問指導員(委託)	H22 2,422人 9人 11人	H23 2,340人 9人 11人	H24 2,222人 10人 12人	H25 2,304人 10人 8人	H26 2,249人 10人 8人						

-特定事業-

育児支援家庭訪問事業 (特定事業)		子育て支援課	
育児に不安や悩みを抱える家庭や、育児困難を抱える家庭に対し、支援に応じた職種の訪問員が職員に代わって定期的に家庭訪問を行い、子育ての負担や不安の軽減を図るとともに、児童虐待等の発生を未然に防ぎます。 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらに充実させていきます。		重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	
		実績	実績
実施状況	訪問員登録者 24人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 1,201回	訪問員登録者 26人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 923回	訪問員登録者 23人 NPO団体 2団体 対象世帯 64世帯 訪問回数 758回 終了世帯 24世帯
		訪問員登録者 29人 NPO団体 2団体 対象世帯 60世帯 訪問回数 689回 終了世帯 23世帯	訪問員登録者 31人 NPO団体 2団体 対象世帯 79世帯 訪問回数 851回 終了世帯 21世帯
		関係機関と連携し、支援の必要な家庭に対し、必要に応じて職種の訪問員を派遣し、家庭状況の改善と児童虐待防止を図る。	訪問員登録者 28人 NPO団体 2団体 対象世帯 80世帯 訪問回数 983回 終了世帯 45世帯
平成26年度の担当評価	相談業務や関係機関との支援検討会を通して、支援の必要な家庭に育児支援家庭訪問員を派遣し、育児不安の軽減や児童虐待の予防ができました。また、多職種の訪問員の育成、登録を行った結果、訪問対象世帯、訪問回数ともに増加し、該当家庭の状況改善につながりました。また、ゴミ屋敷の片付け、保育所入所による負担軽減等、短期支援にて改善が図れたケースが多かったため、例年と比較して、終了世帯数が増加しました。		
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等		
備考	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。	

-特定事業-

3 ファミリー・サポート・センター事業 (特定事業)		子育て支援課						
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、子育てに関する相互援助活動の支援や調整を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図るためポスター掲示をしたり、提供会員の育成を図るため育成講習会を実施するとともに、提供会員の増加に努めます。		重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標
						実施目標	実績	
実施状況	会員数 1,219人 活動件数 6,628件	会員数 1,385人 実施日数 353日 (1/1,2を除く毎日) 活動件数 5,908件	会員数 1,440人 活動件数 5,790件	会員数 1,426人 活動件数 5,703件	会員数 1,506人 活動件数 5,298件	会員数 1,500人 活動件数 6,000件	会員数 1,714人 活動件数 6,073件	年総会員数 1,500人 提供会員 400人 活動件数 7,000件
平成26年度の 担当課評価	会員数については、募集方法の工夫により、依頼会員・提供会員共に増加しました。地域によって提供会員が不足しているところがあるので、引き続き提供会員数の地域差の改善に努めます。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等							
備考	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。	H22 294人 1,002人 89人	H23 316人 1,032人 92人	H24 323人 1,016人 87人	H25 345人 1,072人 89人	H26 376人 1,244人 94人	

-特定事業-

4 ショートステイ (特定事業)		子育て支援課					
保護者が出産、疾病などの理由で、子どもの養育が一時的に困難な場合に、18歳未満の子どもを泊まりがけで預かるショートステイを実施します。							
区分	現状 (策定時)	平成26年度		策定時の目標			
		平成26年度 実績	平成26年度 実績				
実施状況	施設数 3施設 12人 延べ利用人数 153人	平成22年度 実績 施設数 3施設 12人 延べ利用人数 249人	平成23年度 実績 施設数 3施設 12人 延べ利用人数 317人	平成24年度 実績 施設数 3施設 12人 延べ利用人数 260人	平成25年度 実績 施設数 3施設 12人 延べ利用人数 181人	平成26年度 実績 施設数 3施設 12人 延べ利用人数 209人	
平成26年度の 担当課評価	兄弟姉妹での利用が増加したため、昨年に比べ、延べ利用人数はやや増加しました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考							

-特定事業-

5 トワイルイロステイ		(特定事業)					子育て支援課	
		子育て支援課					子育て支援課	
		重点					重点	
共働きや残業などで、恒常的に帰宅の遅い保護者に代わり施設内であがります。学校や保育所へのお迎えと、食事などの提供も行います。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標
						実施目標	実績	
実施状況	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 5,938人	実施施設 2施設 定員 65人 実施日数 270日 延べ利用人数 6,047人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 7,077人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 9,178人	実施施設 2施設 定員 67人 延べ利用人数 8,705人	実施施設 2施設 定員 67人 延べ利用人数 9,100人	実施施設 2施設 定員 67人 延べ利用人数 8,592人	延べ利用人数 7,000人
平成26年度の 担当課評価	高倉保育所は延人数571人減少、しらとりは延人数458人増加しました。他の子育て支援サービスは減少傾向となっており、全体の延べ利用人数は減少傾向となっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等							
備考	2 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

-特定事業-

子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)		(特定事業)				子育て支援課	
在宅子育て家庭の、親同士の交流や親子のふれあいの場を提供し、子育てに関する相談・助言等を行うことで子育て不安を解消します。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実施目標 実績	
実施状況	子育てひろばA型 6か所(私立保育所1) 5・市立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所1) 6・市立保育所1) 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所1) 6・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 9か所(私立保育所1) 8・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 8か所(私立保育所1) 7・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろば都単独型 8か所(私立保育所1) 7・市立保育所1) 子育てひろば一般型 3か所	策定時の目標  子育てひろば事業 8施設
平成26年度の 担当課評価	親子が集う場の提供や子育てに関する相談・助言等を行う子育てひろば事業について、前年に引き続き市内11か所で実施し、在宅子育て家庭の保護者の子育てに係る不安の解消や孤立化の防止を図りました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

-特定事業-

一時預かり・特定保育 (特定事業)		保育支援課					
保護者の入院や息抜き、断続的な就労により、一時的に保育が必要な子どもをあずかる一時預かり・特定保育をします。また、子ども家庭支援センター「たっち」においては、保護者のリフレッシュとしての一時預かりを実施します。 特定保育では、利用者の負担軽減を図ります。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	
実施状況	私立保育所10か所 (定員:116人) 市立保育所1か所 (定員:24人) 子ども家庭支援センター1か所(定員:8人)	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター1か所	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター1か所	私立保育所13か所 市立保育所1か所 認証保育所6か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター1か所	私立保育所14か所 市立保育所1か所 認証保育所8か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター1か所	私立保育所16か所 市立保育所1か所 認証保育所9か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター1か所	特定保育利用者の負担軽減を図る
平成26年度の 担当課評価	平成26年度において新たに私立(認可)保育所2か所と認証保育所1か所の計3か所を一時預かり等の実施施設とし、保護者の傷病や息抜き、就労により一時的な保育サービスを必要とする方に対する、一時預かり・特定保育事業の充実をはかりました。また、特定保育事業では利用日数に応じた利用料金の負担軽減を行いました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

### 3 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等（新規・重点事業）

## 目標1 子育て不安の解消

母子健康手帳の配布		(目標1 子育て不安の解消)					健康推進課					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績					
実施状況	妊娠届出数 2,460件 母子健康手帳配布数 2,469冊	妊娠届出数 2,466件 母子健康手帳配付数 2,479冊	妊娠届出数 2,320件 母子健康手帳配付数 2,338冊	妊娠届出数 2,347件 母子健康手帳配布数 2,368冊	妊娠届出数 2,366件 母子健康手帳配布数 2,382冊	子育て支援課、地域 で出産を待つ病院と の連携強化	妊娠届出数 2,405件 母子健康手帳配布数 2,427冊	配布時の相談体制の 充実 妊娠中から支援を 行ったケースの増加				
平成26年度の 担当課評価	<p>妊娠届出時の面接やアンケートで要支援家庭を把握し、各教室への参加や個別の面接を実施するなど、妊娠中から支援を開始する事例が増加しています。 平成27年度より、現状のアンケート内容では不十分な父親に関する情報把握の項目などを追加して実施の予定です。</p>											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<p>目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">3</p> <p>当初計画どおりに目標を達成することができた。</p>											
備考	<p>平成23年度から、本庁の子育て支援課に保健師を配置して母子健康手帳を交付しています。安心して出産に臨むことができるよう、必要な情報提供に努めるとともに、特定妊婦を早期に発見し、支援につなげています。</p>											

2 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)(再掲)		(目標1 子育て不安の解消)				健康推進課	
		<p>生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。</p>				重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員 2,172人 延人員 2,265人	新生児訪問 実人員 2,068人 延人員 2,164人	新生児訪問 実人員 2,119人 延人員 2,301人	新生児訪問 実人員 2,209人 延人員 2,335人	新生児訪問 実人員 2,250人 延人員 2,350人	新生児訪問 実人員 1,955人 延人員 2,389人
平成26年度の 担当課評価	新生児訪問時の状況により、必要な場合には、新生児訪問を担当した者がその後も訪問を行うなど継続性のある支援に取り組みました。未熟児の訪問件数(平成25年度延86件、26年度延102件)が増え、個々の発育状況に合わせて、より個別性の高い支援が求められています。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3 当初計画どおりに目標を達成することができた。						
備考	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 H22 2,422人 9人 11人 H23 2,340人 9人 11人 H24 2,222人 10人 12人 H25 2,304人 10人 8人 H26 2,249人 10人 8人						

-新規・重点事業-

3 乳幼児訪問		(目標1 子育て不安の解消)					健康推進課					
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行います。また、子どもの疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実施目標	実績			
実施状況	訪問件数 実人員 392人 延人員 459人	訪問件数 実人員 446人 延人員 552人	訪問件数 実人員 443人 延人員 663人	訪問件数 実人員 259人 延人員 567人	訪問件数 実人員 258人 延人員 360人	訪問件数 実人員 400人 延人員 500人	訪問件数 実人員 231人 延人員 310人			適切な時期での訪問及び指導・助言の実施関係機関との連携、支援		
平成26年度の担当課評価	限られた時間と人員により必要な訪問を実施しましたが、目標達成には至りませんでした。来所による面接や、電話相談などによる助言・指導など訪問によらない支援も含めた評価が必要であると考えます。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。									
備考												

-新規・重点事業-

4 3～4か月児健康診査・産婦健康診査 (目標1 子育て不安の解消)		健康推進課					
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるように関係機関との連携を図ります。		重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,248人 受診率 97.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,223人 受診率 97.3%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,371人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,337人 受診率 97.7%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,273人 受診率 97.1% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,254人 受診率 96.9%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,157人 受診率 97.1% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,137人 受診率 96.8%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,221人 受診率 96.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,198人 受診率 96.2%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,201人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,176人 受診率 97.6%	未受診者0(ゼロ)を目指す
平成26年度の担当課評価	受診者数、受診率共に横ばいです。里帰り先の受診や、未熟児は医療機関で健診を受ける場合などもあり、受診率を100%にすることは困難ですが、未把握者ゼロを目指し未受診者把握フォローチャートにより対応していくことが重要であると考えます。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3 当初計画どおりに目標を達成することができた。						
備考	H23対象人数 3～4か月児健康診査 2,340人 産婦健康診査 2,326人		H24対象人数 3～4か月児健康診査 2,222人 産婦健康診査 2,208人		H25対象人数 3～4か月児健康診査 2,304人 産婦健康診査 2,285人		H26対象人数 3～4か月児健康診査 2,249人 産婦健康診査 2,230人

-新規・重点事業-

5 1歳6か月児健康診査		(目標1 子育て不安の解消)					健康推進課					
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるように関係機関との連携を図ります。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	月4回 受診者数 2,269人 受診率 95.1%	月4回 受診者数 2,212人 受診率 94.1%	月4回 受診者数 2,314人 受診率 95.4%	月4回 受診者数 2,261人 受診率 95.2%	月4回 受診者数 2,198人 受診率 97.2%	月4回 受診者数 2,245人 受診率 97.5%					未受診者0(ゼロ)を目指す	
平成26年度の 担当課評価	受診率は目標値を達成していますが、最終的に未把握の事例をゼロにすることを目指して対応することが必要であると考えます。未受診者は、未受診者把握プロジェクトに則り対応しています。海外に居住実態がある児童の把握・対応については今後も検討が必要であると考えます。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3 当初計画どおりに目標を達成することができた。											
備考	H23対象人数 2,426人	H24対象人数 2,374人	H25対象人数 2,262人	H26対象人数 2,302人								

-新規・重点事業-

6 3歳児健康診査		(目標1 子育て不安の解消)					健康推進課					
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	月3回 受診者数 2,000人 受診率 92.6%	月3回 受診者数 2,164人 受診率 92.5%	月3回 受診者数 2,272人 受診率 95.1%	月3回 受診者数 2,185人 受診率 93.3%	月3回 受診者数 2,274人 受診率 95.6%	月3回 受診者数 2,223人 受診率 96.3%	月3回 受診者数 2,223人 受診率 96.3%	未受診者0(ゼロ)を目指す				
平成26年度の 担当課評価	受診率は目標値を達成しています。未受診者ゼロには至っていませんが未受診者把握フォローチャートに沿って未把握者をゼロにするよう対応しています。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3 当初計画どおりに目標を達成することができた。											
備考	H23対象人数 2,390人	H24対象人数 2,342人	H25対象人数 2,378人	H26対象人数 2,308人								

子育て情報の提供 (目標1 子育て不安の解消)		子育て支援課	
重点		重点	
区分	現状 (策定時)	平成26年度	
		実施目標	実績
実施状況	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布内容を充実させた改訂版の発行	子育て情報誌「子育てのたまたま箱」について、市民にとってより見やすく、活用しやすい情報誌となるよう内容の充実やレイアウトの変更を行いました。	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等に配布した子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時に配布した子育てのたまたま箱の配布
平成26年度の担当評価		子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時に配布した子育てのたまたま箱の配布	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等に配布した子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時に配布した子育てのたまたま箱の配布
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかつた要因や実施した代替策等	
備考			

8 多様な手段による情報提供		(目標1 子育て不安の解消)					子育て支援課
広報誌「広報ふちゆう」をはじめ、インターネットの活用や、テレビ広報「まるごと府中」、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」などを通じて、子育て及びひとり親家庭に関する情報提供を行います。		重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	広報ふちゆう及びインターネット、子育て情報誌による、子育て情報の提供	ホームページの見直しを行い最新情報に更新しました。	従来からの子育てのたまたま箱等による情報提供に加え、子育てサイトの構築及び携帯メールでの情報発信の検討を行ったほか、テレビ広報での情報提供について広報誌からの情報収集を行った。	子育てサイトを開設した。携帯メールでの情報発信を開始した。テレビ広報での情報提供について、検討を行い、平成25年度から開始できる準備を整えた。	子育てサイトの運営メール配信サービスでの情報発信、テレビ広報での情報提供	子育てサイトの運営メール配信サービスでの情報発信、テレビ広報での情報提供	様々な機会を活用しての子育て情報の提供
平成26年度の担当課評価	子育てサイトの運営、メール配信サービス、テレビ広報の活用など多様な手段により子育てに関する情報提供を行いました。						
計画期間中の取組に対する担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)					目標を達成できなかった要因や実施した代替策等
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

子育てサイトの充実		(目標1 子育て不安の解消)						子育て支援課
		パソコンや携帯を活用し、子育て団体のホームページにおいて子育て家庭が意見交換できるよう、コミュニティサイトの充実を図ります。						新規
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況		子育て専用サイトの研究・検討を行いました。	子育てサイトを構築しました。	子育てサイトをスタートさせ、その運営及びコンテンツ等の内容の充実をはかりました。また、愛称を「ふわっと」に決定しました。	子育てサイトを継続して運営し、コンテンツ等の内容を充実	子育てサイトを継続して運営し、コンテンツ等の内容を充実	子育てサイトを継続して運営し、コンテンツ等の内容を充実	いつでもどこでもたれでも気軽に活用できる、子育て家庭のコミュニティサイトの充実
平成26年度の担当課評価	これまで「施設・おでかけマップ」の一部として扱っていた「赤ちゃん・ふらっと」事業について、制度の周知啓発を図るため独立したコンテンツとして新たに「赤ちゃん・ふらっと」のページを作成しました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考		当初計画どおりに目標を達成することができた。						



-新規・重点事業-

11 児童館における情報提供 (目標1 子育て不安の解消)										市民活動支援課
子ども家庭支援センター「たち」や文化センター(児童館)において、それぞれの地域で実施している子育て情報などを掲示し、情報提供を充実します。										重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績			
実施状況	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板への掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板やホームページへの掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシの掲載も行った。またホームページへの掲載も行った。	地域で実施している子育て情報の収集と提供
平成26年度の担当課評価	ホームページでの情報提供のほか、文化センターで実施している子ども向けサークルに係る実施情報等を広報掲載・センターの掲示・チラシ告知だけでなく、メール配信システムを活用して情報提供するなど、多様な手段による情報提供を行いました。									
計画期間中の取組に対する担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等							当初計画どおりに目標を達成することができた。
備考										

-新規・重点事業-

12 障害者相談支援事業		(目標1) 子育て不安の解消						障害者福祉課				
		委託相談支援事業所「み～な」「あけぼの」「ブラザ」において、総合的・一元的相談体制を確立し、障害者が適切なサービスを総合的・効果的に利用できるようにするとともに、関係機関との連携を強化し、相談支援機能の充実を図ります。また、高次脳機能障害・発達障害について、啓発事業の実施、関係機関との連携を図るなど必要な支援を行います。						重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,622件 7,955人 あけぼの 2,490件 4,700人 ブラザ 5,341件 5,187人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,387件 6,874人 あけぼの 3,581件 6,540人 ブラザ 4,335件 4,335人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 8,511件 15,567人 あけぼの 3,533件 6,210人 ブラザ 4,128件 4,128人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 6,032件 11,214人 あけぼの 3,451件 6,296人 ブラザ 4,651件 4,651人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 2,463件 4,360人 あけぼの 4,366件 8,469人 ブラザ 3,065件 3,065人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 3,000件 5,300人 あけぼの 5,500件 11,400人 ブラザ 5,000件 5,000人	委託相談支援事業所との連絡会を充実させる。 相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 3,000件 5,300人 あけぼの 5,500件 11,400人 ブラザ 5,000件 5,000人	委託相談支援事業所との連絡会 3センター連絡会 年6回 ブラザ市連絡会 年12回 相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 2,811件 3,178人 あけぼの 5,750件 12,513人 ブラザ 2,557件 2,557人	指定相談支援事業所 3か所以上 相談支援件数 17,000件			
平成26年度の担当課評価	【み～なについて】実施目標値には達していませんが、前年度より相談件数は増えていますが、また、み～な全体での相談件数及び人数も増えていきます。 他事業(就労支援)の相談件数 8,936件 【あけぼのについて】相談件数は全体的に大幅に増えました。特にホームヘルプに関する相談、制度・年金等の情報の提供、通院・健康に関する相談が増えている状況です。 【ブラザについて】他事業(計画相談支援)の相談が増え、結果的に相談支援事業の利用件数が減少しました。一方で、障害者福祉課での相談件数は増加傾向のため、連携強化し、委託先に相談利用がしやすくなる方法を検討する必要があります。 目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかつた要因や実施した代替策等											
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	2 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											
備考												

子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)(再掲)		(目標1 子育て不安の解消)				子育て支援課	
在宅子育て家庭の、親同士の交流や親子のふれあいの場の提供し、子育てに関する相談・助言等を行うことで子育て不安を解消します。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	子育てひろばA型 6か所(私立保育所) 5・市立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所) 6・市立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所) 6・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 9か所(私立保育所) 8・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 8か所(私立保育所) 7・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろば都単独型 8か所(私立保育所) 7・市立保育所1) 子育てひろば一般型 3か所	子育てひろば事業 8施設
平成26年度の 担当課評価	親子が集う場の提供や子育てに関する相談・助言等を行うう子育てひろば事業について、前年に引き続き市内11か所で実施し、在宅子育て家庭の保護者の子育てに係る不安の解消や孤立化の防止を図りました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。					
備考							

-新規・重点事業-

14 地域子育て支援(子育てひろば)事業		(目標1 子育て不安の解消)						保育支援課
児童館や学童クラブ施設などにおいて地域性あふれるひろば事業を実施し、様々な地域から集まる親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援します。		重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 44人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 43人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 6か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 39人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 14か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 39人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 14か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 14か所 ここん 4か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 39人	ポップコーン 11か所 ボランティア 80人
平成26年度の 担当課評価	様々なひろば事業を実施し、多くの人の参加がありました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

子育て地域交流事業 (目標1 子育て不安の解消)										子育て支援課		
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 102,983人 しらとりオーブンルー △ 2,043人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 117,031人 しらとりオーブンルー △ 1,962人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 125,928人 しらとりひろば 5,871人 しらとりオーブンルー △ 1,547人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 135,168人 しらとりひろば 7,724人 しらとりオーブンルー △ 1,443人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 140,269人 しらとりひろば 8,303人 しらとりオーブンルー △ 1,371人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 140,000人 しらとりひろば 8,000人 しらとりオーブンルー △ 1,550人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 141,827人 しらとりひろば 5,283人 しらとりオーブンルー △ 1,119人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 107,500人 しらとりオーブンルー △ 2,200人 地域の子育てサークルやNPOなどの交流会の開催	子ども家庭支援センターを中心に、様々な地域の親子との仲間づくりや、子育て講座、ボランティア活動、交流の場の提供などを行います。また、ボランティア等の協力を得ながら実施回数を増やすとともに、声かけが必要な親子の子育て相談に乗るなど、きめ細かい事業を展開します。			重点
平成26年度の 担当課評価	たっち交流ひろばは、子育てのためはこの配布等で周知されたことにより、入館者が増加しました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。											

-新規・重点事業-

16 公会堂を利用した自主活動の場づくり		(目標1 子育て不安の解消)				子育て支援課		
公会堂を利用した子育てグループの自主活動を応援し、親同士の交流や親子のふれあい機会をつくり、子育て不安の解消や親同士の仲間づくりを図ります。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	策定時の目標		
						平成26年度 実績		
実施状況	3団体	7団体	6団体	7団体	9団体	4団体	3団体	6団体
平成26年度の 担当課評価	公会堂で子育てひろば活動等を行う団体に対し活動費の一部を助成する地域子育てひろば活動支援事業費補助金を実施しており、この補助金の交付団体数を実績値としています。平成26年度においては、4団体が交付申請していたところ、うち1団体が運営者の事情により年度途中において活動の継続できなくなったことから申請を取り下げしており、結果として実績は3団体となっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況		(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
	1	当初計画から大幅な変更や遅れがあり、目標を達成することができなかった。	地域子育てひろば活動支援事業費補助金の実績の推移については、団体の入れ替わりを伴いながら団体数が増減してきている状況があり、計画期間中において目標とする6団体を達成していた年度もあるものの、結果として計画最終年度である平成26年度においては目標を達成することができませんでした。団体の活動の継続性や団体の育成という点で課題が残るものと認識しています。					
備考								

17 児童館の活用		(目標1 子育て不安の解消)						子育て支援課・市民活動支援課				
		市内11か所にある児童館において、子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員を各館の状況に応じた配置を行います。また、児童館に子育てボランティアを配置し、親同士の交流や親子の悩みを相談し合える場づくり、親同士の仲間づくりを図ります。						重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	[児童館指導員] 週5日(平日)4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)2~3時間/日 夏休み等長期休暇中4時間/日	各児童館の事情に応じた児童館指導員の配置 平日の午前中に子育てボランティアを配置し、子育て家庭が集まり、交流や情報収集ができる場の提供								
平成26年度の 担当課評価	[児童館指導員] 児童館指導員の配置については現時点での実施目標は達成されていますが、できれば全センターに土日も含め、常時配置するのが子供の居場所確保につながり望ましいと考えます。 [平日午前のボランティア配置] 文化センターの児童館等で子育てボランティアによる子育てひろばを開催し、親同士の交流や親子の悩みを相談し合える場や親同士の仲間づくりの場を提供し、より子育てしやすい環境の充実を図りました。											
計画期間中 (平成22~26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等											
備考	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。										

子どもと家庭の総合相談 (目標1 子育て不安の解消)										子育て支援課
子どもと家庭支援センター「たっち」を中心として、子どもとその保護者に対する総合相談事業を実施します。										重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績			
実施状況	「たっち」、「しらとり」の2施設 相談件数 813件	「たっち」、「しらとり」の2施設 相談件数 830件	「たっち」、「しらとり」の2施設 相談件数 787件	「たっち」、「しらとり」の2施設 相談件数 788件	「たっち」、「しらとり」の2施設 相談件数 863件	子どもと家庭の総合相談事業を実施し、育児不安・負担の軽減や児童虐待の発生予防を図る。また、スーパーバイザーを交えた事例検討や外部研修などを積極的に活用し、更なる相談員のスキルアップを図る。	「たっち」、「しらとり」の2施設 相談件数 949件	育児不安や負担の解消、軽減のための相談実施 相談員のスキルアップ		
平成26年度の担当課評価	児童相談所と協力して訪問や支援を行うとともに、関係機関とも連携しながら相談事業の充実に努めました。平成26年度は、関係機関との連携による情報共有がスムーズに行われたことや、児童生徒への電話相談カードの配布など児童虐待防止普及啓発の効果もあり、相談件数が増加しました。相談内容については、虐待相談と養育困難相談の増加傾向が続いています。									
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等							
備考	(平成26年度の相談経路の内訳) 児童相談所44件、福祉事務所(生活保護)21件、保健センター65件、市その他129件、保育所25件、児童福祉施設14件、警察等2件、保健所2件、医療機関41件、学校66件、幼稚園2件、教育委員会2件、児童委員7件、家族・親戚434件、近隣・知人52件、児童本人15件、その他28件 計949件									

-新規・重点事業-

19 地域子育てクラス		(目標1 子育て不安の解消)					健康推進課	
子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場として、地域の公会堂や自治会館を会場とし、子育てクラスや未熟児及び多胎児を対象とした子育てクラスを実施することで、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	年12回 97組 相談件数 813件	1年22回 279組 2年5回 20組 の親子が参加	1年12回 96組 2年6回 57組 の親子が参加	1年11回 延69組 2年6回 延79組 の親子が参加	1年9回 延30組 2年6回 延62組 の親子が参加	1育児不安の強い親子を対象として実施する。 2未熟児及び障害児の親子を対象として実施する。	1年11回 延74組 2年6回 延51組 の親子が参加	年20回
平成26年度の 担当課評価	それぞれのグループが参加する親子にとって、情報交換や気持ち共有できる場になっています。また参加者が自らを振り返る機会になっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

虐待予防		(目標1 子育て不安の解消)					健康推進課
母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通して、虐待の予防と早期発見、乳幼児の健全な育成を図ります。							重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績
実施状況	母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通しての虐待の予防と早期発見、早期対応	保健師、助産師等専門職が相談を受け、必要なケースはたち等とも連携	保健師、助産師等専門職が相談を受け、必要なケースはたち等とも連携	保健師、助産師等専門職が相談を受け、必要なケースはたち等とも連携	保健師、助産師等専門職が相談を受け、必要なケースはたち等とも連携	母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通しての相談体制の充実	保健師、助産師等専門職が相談を受け、必要なケースはたち等とも連携
平成26年度の担当課評価	広報や各種事業を通じて子育て相談室を周知し、子育てに関する相談を行いました。必要時には関係機関と連携し対応しました。相談件数は、ほぼ横ばいです。						
計画期間中の取組に対する担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

児童虐待の相談対応 (目標1 子育て不安の解消)		子育て支援課	
児童虐待に関する相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携して情報を共有し、虐待の早期発見・早期支援に努め、児童虐待の防止を図ります。また、児童虐待をしてしまった親に対する支援を行います。		重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度
		実績	実績
実施状況	継続的な支援が必要な家庭に育児支援家庭訪問事業を算入、職員に替わって訪問員による支援と状況の改善	平成22年度	平成23年度
		実績	実績
平成26年度の担当課評価	児童虐待の発生予防・早期発見及び早期支援に向け、22年度に作成した児童虐待防止マニュアル(改訂版)等を活用し、各関係機関との連携強化及び支援体制の整備を図りました。	平成24年度	平成25年度
		実績	実績
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	平成26年度	実績
		実績	実績
備考			
児童虐待の発生予防・早期発見及び早期支援に向け、児童虐待防止マニュアル(改訂版)等を活用し、各関係機関との連携強化及び支援体制の整備を図りました。	児童虐待の発生予防・早期発見及び早期支援に向け、22年度に作成した児童虐待防止マニュアル(改訂版)等を活用し、各関係機関との連携強化及び支援体制の整備を図りました。	児童虐待の発生予防・早期発見及び早期支援に向け、22年度に作成した児童虐待防止マニュアル(改訂版)等を活用し、各関係機関との連携強化及び支援体制の整備を図りました。	児童虐待の発生予防・早期発見及び早期支援に向け、22年度に作成した児童虐待防止マニュアル(改訂版)等を活用し、各関係機関との連携強化及び支援体制の整備を図りました。
平成26年度は関係機関との連携による情報共有がスムーズに行われたことや、児童虐待防止普及啓発の効果もあり、相談件数が増加しました。定期的に支援が必要な家庭には、相談員の定期面談に加え、育児支援家庭訪問員やヘルパーを派遣して児童虐待の発生防止を図りました。また、児童虐待防止マニュアル(改訂版)を活用して関係機関と虐待対応についての共通の認識を持ち、対応することができました。	目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等		
当初計画どおりに目標を達成することができた。	3		
備考			

22 DV防止の情報・資料の収集と提供

(目標1 子育て不安の解消)

市民にDVへの正しい理解を普及・啓蒙するために、女性センター情報資料室にDVに関する資料を積極的に収集します。また、国・都などからの情報を効果的に周知するため、講座を実施する他、それらの情報をセンター内へ掲示し、実施事業などでPRなどを行います。さらに、庁内関係課との連携を図るためにDV対策連携会議を実施します。今後の計画としては、DVの予防のための啓蒙として、女性を対象としたチラシ等の配布だけではなく、「DVは犯罪ではなく、「DVは児童虐待の温床となる」という意識を醸成するため、男性を含め広く市民に向けた啓蒙を実施していきます。

市民活動支援課

重点

区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	DV防止に関する情報の収集・掲示 DV防止講座を1回実施 男女共同参画推進フォーラム、DVに関する分科会にて講座開催 内容「DVの現場から」 「DVの現場から」 「支配」は暴力 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 男女共同参画推進フォーラム、DVに関する分科会にて講座開催 内容「DVの現場から」 「DVの現場から」 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 フォーラム内でDV関連講座開催。内容「DVの現場から」 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 フォーラム内でDV関連講座開催。内容「DVの現場から」 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 女性センター登録団体交流会でデートDVについての特強会を実施 市民企画講座でデートDV関連講座実施 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 フォーラム内でDV関連講座開催 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 DV関連講座開催 内容「DV被害の現状と被害者の自立に向けて」 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示の拡充 DV防止講座を年1回以上実施 DV対策連携会議を継続的に開催
平成26年度の担当課評価	DV防止に関する講座等を実施するとともに情報の収集・提供を行いました。職員を対象としたDV被害者支援対応マニュアル研修を実施しました。DV対策連携会議を1回実施し、関係機関(府中警察署)の方も交えて情報交換を行いました。							
計画期間中の取組に対する担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

女性に対する暴力をなくす運動事業 (目標1 子育て不安の解消)		市民活動支援課		
区分	現状 (策定時)	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	
実施状況	<p>「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、関連講座をDV対策連携会議を1回実施</p> <p>講座：平成22年11月17日 内容「女と男のよりよい関係～DV防止法を中心に～」 参加者：16人 連携会議：平成22年8月16日</p> <p>講座：平成23年11月17日 内容「DV問題から自分らしい生き方を考える」 参加者：13人 連携会議：平成24年2月22日 運動期間にパープルリースの製作とともに、啓発</p> <p>講座：平成24年11月15日 内容「女性の貧困問題からDVを考える」 参加者：11人 連携会議：平成25年2月27日 運動期間にパープルリボン製作とともに、啓発</p> <p>講座：平成25年11月15日 内容「これが知りたかった！DV克服のための法律知識」 参加者：17人 連携会議：平成26年1月14日 運動期間にパープルリボンでオブジェの作成・小物作り等を行うとともに啓発</p> <p>講座：平成26年11月13日 内容「支援現場から見たDV被害の現状と被害者の自立に向けて」 参加者：12人 連携会議：平成27年2月10日 運動期間に紫の布でオブジェの作成を行うとともに啓発を行いました。</p>	<p>「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、関連講座をDV対策連携会議を1回実施</p> <p>運動期間に啓発事業の実施</p>	<p>継続的に年1回以上の講座を実施</p> <p>DV対策連携会議を継続的に開催</p> <p>市民向けにDV啓発のための周知</p>	
平成26年度の担当課評価	<p>運動期間にあわせて市民談話室にDV防止啓発ポスターを掲示するとともに、関連講座を開催しました。また、DV対策連携会議を1回実施し、関係機関(府中警察署)の方も交えて情報交換を行いました。</p>			
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	3	<p>目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p>		
備考	<p>当初計画どおりに目標を達成することができた。</p>			

-新規・重点事業-

親支援事業		(目標1 子育て不安の解消)					子育て支援課					
育児に不安を抱え子どもに虐待をしまいそうな、又はしてしまった母親を対象に、悩みや不安を打ち明けながら、自分なりの子育てを見つつけ親子の成長を支援していくグループ活動を支援します。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	たっち 2グループ 43回実施 登録者 27人 参加人数 101人 NP 3コース(しらと り) 27回実施 参加人数 411人	たっち 2グループ 42回実施 登録者 26人 参加人数 125人 NP 3コース(しらと り) 20回実施 参加人数 361人	たっち 3グループ 51回実施 登録者 30人 参加人数 149人 NP(しらとり) 9回実 施 参加人数 183人	たっち 3グループ 50回実施 登録者 33人 参加人数 149人 NP(しらとり) 7回実 施 参加人数 130人	たっち 3グループ 50回実施 登録者 23人 参加人数 132人 NP(しらとり) 7回実 施 参加人数 149人	たっち 3グループ 52回実施 登録者 35人 参加人数 162人 NP(しらとり) 2回実 施 参加人数 92人	たっち 現在の3グループとし らとりでのNPを継続 して実施し、親の子 育て力の向上に努め る。	たっち2グループの登 録者数45人 NP 3コース				
平成26年度の 担当課評価	自分自身の育ちや気持ちを受け止めて子育てに望むことが難しい母親に対して、相談員の面談に加えて、母同士のグループ活動で自らをふり返ることが、児童虐待防止及び重篤化防止につながっています。たっちの3グループとしらとりのNP1コース、保健センターの1グループでそれぞれ対象像を分け実施することで、親の子育て力の向上に努めました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。											

-新規・重点事業-

育兒支援家庭訪問事業(再掲)		(目標1 子育て不安の解消)				子育て支援課	
育兒に不安や悩みを抱える家庭や、育兒困難を抱える家庭に対し、支援に応じた職種の訪問員が職員に代わって定期的に家庭訪問を行い、子育ての負担や不安の軽減を図るとともに、児童虐待等の発生を未然に防ぎます。 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらに充実させていきます。		重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	訪問員登録者 24人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 1,201回	訪問員登録者 26人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 923回	訪問員登録者23人 NPO団体 2団体 対象世帯 64世帯 訪問回数 758回 終了世帯 24世帯	訪問員登録者29人 NPO団体 2団体 対象世帯 60世帯 訪問回数 689回 終了世帯 23世帯	訪問員登録者31人 NPO団体 2団体 対象世帯 79世帯 訪問回数 851回 終了世帯 21世帯	訪問員登録者28人 NPO団体 2団体 対象世帯 80世帯 訪問回数 983回 終了世帯 45世帯	訪問員 30人 訪問世帯 90世帯 訪問事業終了ケース 45世帯 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらなる充実
平成26年度の 担当課評価	相談業務や関係機関との支援検討会を通して、支援が必要な家庭に育兒支援家庭訪問員を派遣し、育兒不安の軽減や児童虐待の予防ができました。また、多職種の訪問員の育成・登録を行った結果、訪問対象世帯、訪問回数ともに増加し、該当家庭の状況改善につながりました。また、ゴミ屋敷の片付け、保育所入所による負担軽減等、短期支援にて改善が図れたケースが多かったため、例年と比較して、終了世帯数が増加しました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。					

目標2 地域における子育て支援

26 小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」		(目標2 地域における子育て支援)				図書館		
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標	
		実績	実績	実績	実績	実施目標		実績
実施状況		年5回 28人	年5回 16人	年5回 33人 (中央図書館)	年5回 41人 (中央図書館)	年4回 44人 (中央図書館)	年4回 27人 (中央図書館)	毎月1回 年12回実施
平成26年度の 担当課評価	平成26年度は年4回図書館で開催しました。施設内及び隣接公園の他イベントと日時が重なることもあり、1回あたりの参加者が伸び悩みました。図書館での「よむよむ探検隊」のほか、市内小学校3校(対象399名)にブックトークを行い、今後も多くの児童にブックトークを通して読書の楽しさを伝えていきます。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。						
備考	よむよむ探検隊の一環として、平成25年度に小学校3校(対象443名)にブックトークを行いました。多くの児童にブックトークを通して読書を楽しんでもらうために、平成26年度も諸学校に向いてブックトークを行い、図書館での開催は4回とします。							

-新規・重点事業-

子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)				子育て支援課		
在宅子育て家庭の、親同士の交流や親子のふれあいの場の提供し、子育てに関する相談・助言等を行うことで子育て不安を解消します。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標
						実施目標	実績	
実施状況	子育てひろばA型 6か所(私立保育所) 5・市立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所) 6・市立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所) 6・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 9か所(私立保育所) 8・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろばA型 8か所(私立保育所) 7・市立保育所1) 子育てひろばB型 1か所 子育てひろばC型 2か所	子育てひろば都単独 型 8か所(私立保育所) 7・市立保育所1) 子育てひろば一般型 3か所	子育てひろば都単独 型 8か所(私立保育所) 7・市立保育所1) 子育てひろば一般型 3か所	子育てひろば事業 8施設
平成26年度の 担当課評価	親子が集う場の提供や子育てに関する相談・助言等を行うう子育てひろば事業について、前年に引き続き市内11か所で実施し、在宅子育て家庭の保護者の子育てに係る不安の解消や孤立化の防止を図りました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考								

-新規・重点事業-

28 地域子育て支援(子育てひろば)事業(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)		保育支援課		
児童館や学童クラブ施設などにおいて地域性あふれるひろば事業を実施し、様々な地域から集まる親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援します。						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		実績	実績	実績	実績	実績
実施状況	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 44人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 2か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 43人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 6か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 39人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 14か所 ここん 4か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほのぼ 2か所 ぬくぬく 14か所 ここん 4か所 はじめてアート 1か 所 ボランティア 39人
平成26年度の 担当課評価	様々なひろば事業を実施し、多くの人の参加がありました。					
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかつた要因や実施した代替策等 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。				
備考						

-新規・重点事業-

子育て地域交流事業(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)					子育て支援課					
子ども家庭支援センターを中心に、様々な地域の親子との仲間づくりや、子育て講座、ボランティア活動、交流の場の提供などを行います。また、ボランティア等の協力を得ながら実施回数を増やすとともに、声かけが必要な親子の子育て相談に乗るなど、きめ細かい事業を展開します。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 102,983人 しらとりオーブンルー △ 2,043人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 117,031人 しらとりオーブンルー △ 1,962人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 125,928人 しらとりひろば 5,871人 しらとりオーブンルー △ 1,547人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 135,168人 しらとりひろば 7,724人 しらとりオーブンルー △ 1,443人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 140,269人 しらとりひろば 8,303人 しらとりオーブンルー △ 1,371人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 140,000人 しらとりひろば 8,000人 しらとりオーブンルー △ 1,550人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 141,827人 しらとりひろば 5,283人 しらとりオーブンルー △ 1,119人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 107,500人 しらとりオーブンルー △ 2,200人 地域の子育てサークルやNPOなどの交流会の開催				
平成26年度の 担当課評価	たっち交流ひろばは、子育てのたまたまではこの配布等で周知されたことにより、入館者が増加しました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。											

-新規・重点事業-

公会堂を利用した自主活動の場づくり(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)				子育て支援課		
公会堂を利用した子育てグループの自主活動を応援し、親同士の交流や親子のふれあひ機会をつくり、子育て不安の解消や親同士の仲間づくりを図ります。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成26年度		策定時の目標	
					実施目標	実績		
実施状況	3団体	7団体	6団体	7団体	9団体	4団体	3団体	6団体
平成26年度の 担当課評価	公会堂で子育てひろば活動等を行う団体に対し活動費の一部を助成する地域子育てひろば活動支援事業費補助金を実施しており、この補助金の交付団体数を実績値としています。平成26年度においては、4団体が交付申請していたところ、うち1団体が運営者の事情により年度途中において活動の継続できなくなったことから申請を取り下げしており、結果として実績は3団体となっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	1	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 地域子育てひろば活動支援事業費補助金の実績の推移については、団体の入れ替わりを伴いながら団体数が増減してきている状況があり、計画期間中において目標とする6団体を達成していた年度もあるものの、結果として計画最終年度である平成26年度においては目標を達成することができませんでした。団体の活動の継続性や団体の育成という点で課題が残るものと認識しています。						
備考								

31 児童館の活用(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)						子育て支援課・市民活動支援課				
		市内11か所にある児童館において、子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員を各館の状況に応じた配置を行います。また、児童館に子育てボランティアを配置し、親同士の交流や親子の悩みを相談し合える場づくり、親同士の仲間づくりを図ります。						重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	[児童館指導員] 週5日(平日)4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)2~3時間/日 夏休み等長期休暇中4時間/日	各児童館の事情に応じた児童館指導員の配置 平日の午前中に子育てボランティアを配置し、子育て家庭が美しい、交流や情報収集ができる場の提供								
平成26年度の担当課評価	[児童館指導員] 児童館指導員の配置については現時点での実施目標は達成されていますが、できれば全センターに土日も含め、常時配置するのが子供の居場所確保につながり望ましいと考えます。 [平日午前のボランティア配置] 文化センターの児童館等で子育てボランティアによる子育てひろばを開始し、親同士の交流や親子の悩みを相談し合える場や親同士の仲間づくりの場を提供し、より子育てしやすい環境の充実を図りました。											
計画期間中(平成22~26年度)の取組に対する担当課評価	3	目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等										
備考		当初計画どおりに目標を達成することができた。										

-新規・重点事業-

児童館における情報提供(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)					市民活動支援課	
子ども家庭支援センター「たち」や文化センター(児童館)において、それぞれの地域で実施している子育て情報などを掲示し、情報提供を充実します。		重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板への掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板やホームページへの掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	地域で実施している子育て情報の収集と提供
平成26年度の担当課評価	ホームページでの情報提供のほか、文化センターで実施している子ども向けサークルに係る実施情報等を広報掲載・センターの掲示・チラシ告知だけでなく、メール配信システムを活用して情報提供するなど、多様な手段による情報提供を行いました。							
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考								

-新規・重点事業-

市立幼稚園園庭開放		(目標2 地域における子育て支援)					学務保健課				
市立幼稚園の園庭開放を開園時間以外に開放し、在籍児はもとより未就園児、近隣幼児等の安全で安心して遊べる場所として提供するとともに、保護者の交流の場とします。							重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標				
		実績	実績	実績	実績	実績					
実施状況	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,729人 矢崎幼稚園 2,558人 みどり幼稚園 2,278人 小柳幼稚園 2,893人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 9,822人 矢崎幼稚園 2,263人 みどり幼稚園 5,119人 小柳幼稚園 2,440人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 10,487人 矢崎幼稚園 2,793人 みどり幼稚園 2,846人 小柳幼稚園 4,848人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 9,513人 矢崎幼稚園 2,711人 みどり幼稚園 2,348人 小柳幼稚園 4,454人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 10,053人 矢崎幼稚園 3,158人 みどり幼稚園 2,922人 小柳幼稚園 3,973人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 10,249人 矢崎幼稚園 3,458人 みどり幼稚園 2,885人 小柳幼稚園 3,906人	子育て相談の充実				
平成26年度の 担当課評価	本事業は、幼稚園児の保護者等に定着している事業であり、実施目標を上回る成果が得られました。										
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<table border="1"> <tr> <td>目標達成状況</td> <td>(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>当初計画の目標を超える成果を得ることができた。</td> </tr> </table>							目標達成状況	(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等	4	当初計画の目標を超える成果を得ることができた。
目標達成状況	(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等										
4	当初計画の目標を超える成果を得ることができた。										
備考											

おはなし会		(目標2 地域における子育て支援)					図書館					
おはなし(ストーリーテリング)や絵本の読み聞かせを通し、読書の楽しみ、想像力をはぐくむきっかけとします。平成21年度からは、中央図書館は毎週木曜日(小学生対象の回に参加がほとんどないことより1日2回から1回へ(但し、小学生向けに別事業実施))及び第1土曜日、地区図書館は毎月1回、図書館職員と市民であるおはなしボランティアとの協働で行っています。また、中央図書館では、夏と冬各1回、おたのしみおはなし会を行っています。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	中央図書館 1,691人 (内子ども58人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 58人(内子ども58人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 35人(内子ども35人) 地区図書館 35回 342人(内子ども275人)	中央図書館 782人 (内子ども588人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 49人(内子ども43人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 29人(内子ども25人) 地区図書館 125回 1,109人(内子ども822人)	中央図書館 871人 (内子ども691人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)45人(内子ども38人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 29人(内子ども24人) 地区図書館 139回 1,135人(内子ども829人)	中央図書館 945人 (内子ども690人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 44人(内子ども36人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 32人(内子ども23人) 地区図書館 141回 1,104人(内子ども809人)	中央図書館 1,159人 (内子ども838人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 48人(内子ども34人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回30人(内子ども24人) 地区図書館 136回 1,050人(内子ども766人)	中央図書館 1,100人 (内子ども850人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 60人(内子ども50人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回50人(内子ども40人) 地区図書館 131回 1,050人(内子ども750人)	中央図書館 1,104人 (内子ども868人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 48人(内子ども33人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回33人(内子ども26人) 地区図書館 134回 971人(内子ども689人)	中央図書館 1,700人 夏のおたのしみおはなし会(中央)1回 60人 (内子ども60人) 冬のおたのしみおはなし会(中央)1回 60人 (内子ども60人) 地区図書館 144回 2,500人 (内子ども2,380人)				
平成26年度の担当課評価	中央図書館・地区図書館ともにPR効果があり、参加者が定着してきています。中央図書館では全体としては少々減少していますが、子どもの参加者数は増加しています。子ども本人の参加回数が増え、おはなし会に慣れてきたことにより、子ども一人で参加できるようになってきたためかと思われます。また、地区図書館では、人数が減少していますが、押立図書館が改築のためおはなし会が2回程度だったことによるものです。											
計画期間中の取組に対する担当課評価	2		当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。									
備考	目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等											

ちいさい子のおはなし会		(目標2 地域における子育て支援)				図書館						
1・2歳の乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうたなどを行い、読書やことばの楽しさを知ってもらい、子どもと保護者のふれあいを促します。平成21年度から、中央図書館は毎月第2・4木曜日、地区図書館は各館毎月1回、市職員と市民によるおはなしボランティアと協働で実施しています。		重点										
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実施目標	実績			
実施状況	中央図書館 24回 825人 (内子ども419人) 地区図書館 46回 942人 (内子ども488人)	中央図書館 22回 633人 (内子ども323人) 地区図書館 125回 1,563人 (内子ども831人)	中央図書館 24回 579人 (内子ども295人) 地区図書館 138回 1,808人 (内子ども968人)	中央図書館 23回 634人 (内子ども319人) 地区図書館 141回 1,786人 (内子ども829人)	中央図書館 24回 640人 (内子ども347人) 地区図書館 136回 1,843人 (内子ども995人)	中央図書館 24回 700人 (内子ども350人) 地区図書館 131回 1,800人 (内子ども800人)	中央図書館 24回 680人 (内子ども353人) 地区図書館 133回 1,603人 (内子ども843人)	中央図書館は現状維持 地区図書館 144回 2,880人 (内子ども2,440人)				
平成26年度の 担当課評価	おはなし会日程表を行事やイベントで配布するなどの効果により、中央図書館では前年度より参加人数が増加しています。常連の方の参加も見られ、少しずつですが定着してきているようです。また、地区図書館では、押立図書館の改築にともない、おはなし会がなかったため、全体の数が減少したと思われ、なお、赤ちゃんや乳児、幼児を連れての参加になるため、天候に左右されるため、評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2											
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											

赤ちゃん絵本文庫		(目標2 地域における子育て支援)				図書館
3, 4か月児及び1歳6か月児健康診査時に、絵本の読み聞かせやわらべうた、手あそびなどを実施し、保護者とともに読書へのきっかけとします。3, 4か月児健康診査では、赤ちゃんの図書館利用カードの登録も行い、図書館利用への働きかけも行います。市職員とおはなしボランティアと協働で実施しています。						重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	
実施状況	利用登録者数 927人 貸出人数 247人 貸出冊数 798冊	利用登録者数 917人 貸出人数 205人 貸出冊数 639冊	利用登録者数 914人 貸出人数 259人 貸出冊数 852冊	利用登録者数 920人 貸出人数 197人 貸出冊数 529冊	利用登録者数 1,050人 貸出人数 194人 貸出冊数 565冊	利用登録者数 950人 貸出人数 200人 貸出冊数 800冊
平成26年度の 担当課評価	職員とボランティアで、絵本の読み聞かせやわらべうたの本の紹介、赤ちゃんの図書館利用登録、図書館利用登録、図書館の利用などの案内をしています。利用登録者数は実施目標を超えました。赤ちゃんの利用者登録や絵本の貸出について積極的に声かけを行っていますが、2時間ほどの健診の合同での対応のため、慌ただしい状況です。2階の健診実施場所のレイアウトが変わり、貸出について少し伸び悩みがあります。また、荷物の多さや天候などにより、貸出者数が減少したと思われます。					利用登録者数 1,038人 貸出人数 173人 貸出冊数 535冊
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。					

図書館サービス		(目標2 地域における子育て支援)					図書館					
全13館で所蔵する資料を活用し、さらにインターネットやCD-ROMなど新たな媒体も活用しつつ、子どもに読書の楽しみを知らせ、また、子どもの学びや知りたいという好奇心に対応できるように、資料の充実や図書館の使いやすさへの工夫に取り組んでいきます。また、きめ細かい読書相談やレファレンスサービスを行うとともに、子どもたちの心をはぐくむ本との出会いの場として、PFI事業者も含め事業を展開していき、図書館ボランティアと協働しながら、また、学校と連携しながら図書館サービスの充実を行います。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	ブックトーク講習会 一般・教師等対象 全 3回 21人 キャンペーン「たびた びよんでほんのた び」子ども対象 768 人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 917人 出前講座 計4回117 人(内子ども11人) 学校への事業(ブック トーク等) 計4校 253人(内子ども200 人)	学校司書教諭・指導 補助員等へのブック トーク等研修 3回 キャンペーン「たびた びよんでほんのた び」子ども対象 772 人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 876人 出前講座 計4回93 人 学校への事業(ブック トーク等) 計2校 164人(内子ども124 人)	子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象1,630人 夏休み読書キャン ペーン「この本よんだ かい！」子ども対象 968人 出前講座 計3回52 人 学校への事業 計3校 276人(内子ども265 人)	学校図書館指導補助 員への学級貸出・配 送便の説明 子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象1,399人 夏休み読書キャン ペーン「この本だ いすき！」子ども対象 876人 出前講座 計2回22 人 学校への事業 計6校 287人(内子ども274 人)	学校図書館担当者連 絡での学級貸出・配 送便の説明 子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象1,534人 夏休み読書キャン ペーン「この本読ん だかい？」子ども対象 938人 出前講座 計2回57 人 学校への事業 計7 校762人(内子ども 724人)	学校図書館担当者連 絡での学級貸出・配 送便の説明 子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象2,206人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 813人 出前講座 計1回19 人 学校への事業 計8 校772人(内子ども 738人)	キャンペーン 参加子ども人数 1,000人 夏休み読書キャン ペーン 参加子ども人数 1,200人 出前講座 6回 学校への事業 6校					
平成26年度の 担当課評価	子ども読書キャンペーンについては、前回テーマの「のりもの」より、さらに多くの子どもが興味を持てるよう、「どうぶつ」としました。動物の出でくる本も多くあるため、参加しやすかったようで、参加者数は大幅に増加しました。学校への事業については、平成25年度からブックトークの依頼が増え、平成26年度も同じく依頼があり実施することができたため、ほぼ昨年並みの実績となりました。今後実施が定着することを期待します。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											

公園・緑地		(目標2 地域における子育て支援)					公園緑地課	
		市内のどこからでも歩いていける範囲に公園があることを目指し、公園の整備を進めます。街区公園など地域に密着した公園は、コミュニティの場として活用できるように、地域の人びとが主体となった管理・運営を行います。また、子どもが安心して楽しく利用できるよう、安全に配慮した遊具等の設置や安全管理、砂場などの衛生管理を行います。					重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	181ha (市面積の6.34%)	老朽化が激しい木製複合遊具の取替え(1公園)や砂場殺菌(全公園)を実施できました。	老朽化が激しい木製複合遊具の取替え(1公園)や改修(2公園)工事、また、砂場殺菌(全公園)を実施できました。	遊具の新設(2公園)工事や砂場殺菌(全公園)を実施できました。	老朽化の激しい木製遊具の取替えを3公園にて行った。また、砂場の砂殺菌、補完作業を全公園にて行った。	老朽化した公園遊具などの改修や取替え工事を行う。また、砂場の砂殺菌、補完作業を行う。	老朽化した公園遊具の補修28、ベンチの取替え25の工事を行う。また、砂殺菌、補完作業を全公園にて行った。	子どもが安心して楽しく利用できる公園整備
平成26年度の 担当課評価	大きな改修はできませんでしたが、維持管理のための補修を多くの公園で実施し、予算の範囲内で概ね目標は達成できました。また、公園巡回や安全点検を行い、老朽化の激しい遊具や危険箇所等の発見に努めました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。					
備考								

子育て関連団体と地域とのネットワーク化 (目標2 地域における子育て支援)		子育て支援課		
子育てに関わる団体等による組織を設け、団体間の情報交換や地域の実情に応じた取り組みを支援します。				
重点				
区分	現状 (策定時)	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	
実施状況	地域子育てひろば活動団体との情報交換	子育てひろば団体交流会を実施し、202組、399人の親子が参加しました。	子育てひろば団体交流会を実施し、267組、530人の親子が参加するなど、子育てひろばの活動支援を継続し、子育て関係団体と地域とのネットワーク化を図りました。	ひろば会議の継続並びに子ども家庭支援センター運営協議会における子育て関係団体と地域のネットワーク化
平成26年度の 担当課評価	市内で子育てひろばを実施している方達と共催で、ルミエール府中において「ひろげよう！子育てひろばのわいわい」という交流会を開催しました。出産を控えた妊婦と育児中の母親たちが交流できる機会も作りました。			
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。		
備考				

子育てボランティアの育成講座		(目標2 地域における子育て支援)				子育て支援課
社会福祉協議会と連携し、子育て支援事業などへのボランティアの受け入れや活動の場を提供するとともに、地域の子育てひろばやサークルの活動を支援するボランティアの育成を行います。		重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		実績	実績	実績	実績	実績
実施状況	社会福祉協議会のボランティア登録者として「たち、交流ひろばの提供	ボランティア養成講座 参加延数 27人 ステップアップ講座 参加延数 16人	ボランティア養成講座 参加延数 23人 ステップアップ講座 参加延数 13人	ボランティア養成講座 参加延数 29人 ステップアップ講座 参加延数 21人 また、講座修了者への場の提供を図るなど、活動件数の拡大に努めました。	ボランティア養成講座 参加延数 17人 ステップアップ講座 参加延数 11人 また、講座修了者への場の提供を図るなど、活動件数の拡大に努めました。	ボランティア養成講座 参加延数 23人 ステップアップ講座 参加延数 13人 また、講座修了者への場の提供を図るなど、活動件数の拡大に努めました。
平成26年度の 担当課評価	一般市民や学生を対象にしたボランティア養成講座と、既にボランティアとして活動している人を対象にしたステップアップ講座を実施しました。「たち」や「しらとり」、保健センター、社会福祉協議会などでのボランティア活動の場を提供し、子育てひろばなどのボランティア活動の拡大に繋がりました。					
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。				
備考						

-新規・重点事業-

ファミリー・サポート・センター事業(再掲)		(目標2 地域における子育て支援)				子育て支援課		
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、子育てに関する相互援助活動の支援や調整を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図るためポスター掲示をしたり、提供会員の育成を図るため育成講習会を実施するとともに、提供会員の増加に努めます。		重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	会員数 1,219人 活動件数 6,628件	会員数 1,385人 実施日数 353日 (1/1,2を除く毎日) 活動件数 5,908件	会員数 1,440人 活動件数 5,790件	会員数 1,426人 活動件数 5,703件	会員数 1,506人 活動件数 5,298件	会員数 1,500人 活動件数 6,000件	会員数 1,714人 活動件数 6,073件	年総会員数 1,500人 提供会員 400人 活動件数 7,000件
平成26年度の 担当課評価	会員数については、募集方法の工夫により、依頼会員・提供会員共に増加しました。地域によって提供会員が不足しているところがあるので、引き続き提供会員数の地域差の改善に努めます。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	提供会員 依頼会員 両方会員	H22 294人 1,002人 89人	H23 316人 1,032人 92人	H24 323人 1,016人 87人	H25 345人 1,072人 89人	H26 376人 1,244人 94人		

-新規・重点事業-

子ども手当		(目標2 地域における子育て支援)						子育て支援課
<p>中学3年生(15歳に達した日の属する年度末)までの子どもを養育している保護者(生計中心者)に子ども手当を支給します。</p>								新規
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況		延対象者数 361,516人	延対象者数 384,959人	延対象者数 71,926人	延対象者数 107人 (H24保留分)			延対象者数 399,564人
平成26年度の 担当課評価	平成26年度は実績なし。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	<p>目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p> <p>当初計画どおりに目標を達成することができた。</p>						
備考	<p>子ども手当制度は、平成22年度に創設され、平成23年度をもって制度が終了している。(平成24年度以降については、現況届未提出者及び保留者などのみに支給している。)</p> <p>平成24年度からは、児童手当制度が施行され、中学3年生(15歳に達した日の属する年度末)までの子どもを養育している保護者に対して手当を支給している。</p>							

目標3 保育サービスの充実

認可保育所		(目標3 保育サービスの充実)					保育支援課	
私立保育園の新設や分園の開設を行うことにより、待機児童の解消を目指します。 また、市立保育所への民間活力導入の検討を行います。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標
						実施目標	実績	
実施状況	認可定員 3,589人 市立16施設 1,704人 私立17施設 1,885人	認可定員 3,911人 市立16施設 1,745人 私立21施設 2,166人	認可定員 4,025人 市立16施設 1,745人 私立22施設 2,280人	認可定員 4,336人 市立16施設 1,745人 私立25施設 2,591人	認可定員 4,378人 市立16施設 1,754人 私立25施設 2,624人	認可定員 4,518人 市立16施設 1,754人 私立25施設 2,764人	認可定員 4,518人 市立16施設 1,754人 私立26施設 2,764人	41施設 4,343人
平成26年度の 担当課評価	美好町二丁目の都用地において認可保育所の開設を通じて、目標の施設数及び定員数を上回る整備を実施しました。 また、市立保育所への民間活力導入に関する取組を進め、当該取組の対象となる施設の選定等を実施しました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。						
備考								

43

-新規・重点事業-

44									
<b>障害児保育</b> (目標3 保育サービスの充実)									
心身に障害のある子どもの保護者のニーズに応えるため、民間保育所の新設時などにあわせて入所定員枠を拡大します。									
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標	
						実施目標	実績		
実施状況	63人	68人	69人	76人	85人	76人	98人		受け入れ増
平成26年度の 担当課評価									
障害児の受け入れに努めました。									
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価									
目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
2 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。									
備考									

-新規・重点事業-

45 認可外保育所(認証・保育室等)		(目標3 保育サービスの充実)					保育支援課	
認証保育所の新設や保育室の認証保育所等への移行を支援します。また、認定こども園や家庭的保育事業(以下「保育ママ」という。)の導入に向けて検討します。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	定員 315人 認証 9施設 265人 保育室 3施設 50人	定員 331人 認証 9施設 281人 保育室 3施設 50人	定員 421人 認証 12施設 395人 保育室 2施設 26人	定員 465人 認証 13施設 430人 保育室 2施設 35人	定員 556人 認証 15施設 506人 保育室 2施設 35人 家庭的保育 3か所 15人	定員 577人 認証 16施設 554人 保育室 1施設 8人 家庭的保育 3か所 15人	定員 577人 認証 16施設 554人 保育室 1施設 8人 家庭的保育 3か所 15人	認証 19施設 575人
平成26年度の 担当課評価	保育所の新設等により、定員増を行いました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

46 病児・病後児保育		(目標3 保育サービスの充実)					保育支援課	
病気の子どもを医療機関併設型の施設であずかります。また、病気の回復期にある子どもを施設であずかる、病児・病後児保育の充実を図ります。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	実施施設 1か所 定員 4人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 12人	実施施設 1か所 定員 5人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 599人	実施施設 2か所 定員 10人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 865人	実施施設 2か所 定員 10人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 732人	実施施設 2か所 定員 10人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 510人	実施施設 2か所 定員 10人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 800人	実施施設 2か所 定員 10人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 532人	実施施設 病児・病後児保育 2施設 利用人数 800人
平成26年度の 担当課評価	現状では、年間800人程度の受け入れが可能な態勢の整備を行っており、その範囲内で推移している状況になっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	目標における利用人数については、受け入れが可能な人数を目標として設定したものです。							

-新規・重点事業-

一時預かり・特定保育(再掲)		(目標3 保育サービスの充実)					保育支援課	
区分		現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
			実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況		私立保育所10か所 (定員:116人) 市立保育所1か所 (定員:24人) 子ども家庭支援センター 1か所(定員:8人)	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所	私立保育所13か所 市立保育所1か所 認証保育所6か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所	私立保育所14か所 市立保育所1か所 認証保育所8か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所	私立保育所16か所 市立保育所1か所 認証保育所9か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所	私立保育所16か所 市立保育所1か所 認証保育所9か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所	特定保育利用者の負担軽減を図る
平成26年度の担当課評価	平成26年度において新たに私立(認可)保育所2か所と認証保育所1か所の計3か所を一時預かり等の実施施設とし、保護者の傷病や急抜き、就労により一時的な保育サービスを必要とする方に対する、一時預かり・特定保育事業の充実をはかりました。また、特定保育事業では利用日数に応じた利用料金の負担軽減を行いました。							
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	3		目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかつた要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

ファミリー・サポート・センター事業(再掲)		(目標3 保育サービスの充実)				子育て支援課		
		育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間立ち、子育てに関する相互援助活動の支援や調整を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図るためポスター掲示をしたり、提供会員の育成を図るため育成講習会を実施するとともに、提供会員の増加に努めます。				重点		
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成26年度		策定時の目標	
					実施目標	実績		
実施状況	会員数 1,219人 活動件数 6,628件	会員数 1,385人 実施日数 353日 (1/1,2を除く毎日) 活動件数 5,908件	会員数 1,440人 活動件数 5,790件	会員数 1,426人 活動件数 5,703件	会員数 1,506人 活動件数 5,298件	会員数 1,500人 活動件数 6,000件	会員数 1,714人 活動件数 6,073件	年総会員数 1,500人 提供会員 400人 活動件数 7,000件
平成26年度の 担当課評価	会員数については、募集方法の工夫により、依頼会員・提供会員共に増加しました。地域によって提供会員が不足しているところがあるので、引き続き提供会員数の地域差の改善に努めます。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3							
備考	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
		当初計画どおりに目標を達成することができた。						
	提供会員 依頼会員 両方会員	H22 294人 1,002人 89人	H23 316人 1,032人 92人	H24 323人 1,016人 87人	H25 345人 1,072人 89人	H26 376人 1,244人 94人		

-新規・重点事業-

トワイルाइストステイ(再掲)		(目標3 保育サービスの充実)					子育て支援課	
共働きや残業などで、恒常的に帰宅の遅い保護者に代わり施設内であずかります。学校や保育所へのお迎えと、食事などの提供も行います。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 5,938人	実施施設 2施設 定員 65人 実施日数 270日 延べ利用人数 6,047人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 7,077人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 9,178人	実施施設 2施設 定員 67人 延べ利用人数 8,705人	実施施設 2施設 定員 67人 延べ利用人数 9,100人	実施施設 2施設 定員 67人 延べ利用人数 8,592人	延べ利用人数 7,000人
平成26年度の 担当課評価	高倉保育所は延べ人数571人減少、しらとりは延べ人数458人増加しました。他の子育て支援サービスの充実もあり、全体の延べ利用人数は減少傾向となっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

50 延長保育		(目標3 保育サービスの充実)						保育支援課				
市立保育所及び私立保育園で、夕方から夜にかけて保育が必要な子どもをあずかる時間延長保育を行います。												
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	19時まで 23施設 20時まで 7施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設	19時まで 26施設 20時まで 8施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設	19時まで 26施設 20時まで 9施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設	19時まで 27施設 20時まで 12施設 22時まで 2施設	19時まで 27施設 20時まで 12施設 22時まで 2施設	19時まで 27施設 20時まで 13施設 22時まで 2施設	19時まで 27施設 20時まで 13施設 22時まで 2施設	19時以上	全施設			
平成26年度の 担当課評価	全施設で19時以上の延長保育を実施しました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。											

-新規・重点事業-

51 保育所における質の向上のための取り組み(アクションプログラム)		(目標3 保育サービスの充実)				保育支援課
施設長及び職員への研修、保育実践に関する調査研究、保育士による保育内容等の自己評価などを行い、保育の質の向上を図ります。						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		実績	実績	実績	実績	実績
実施状況		研修の充実 保育に関する研究の 実施 自己評価の実施	研修の充実 保育に関する研究の 実施 自己評価の実施	研修の充実 保育に関する研究の 実施 自己評価の実施	研修の充実 保育に関する研究の 実施 自己評価の実施	研修の充実 保育に関する研究の 実施 自己評価の実施
平成26年度の 担当課評価	市立保育所全体で様々な研修に取り組みとともに、私立保育園とも合同で研修を行いました。また、保育指針に基づき自己評価を行いました。					
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。					

-新規・重点事業-

市立幼稚園園庭開放(再掲)		(目標3 保育サービスの充実)				学務保健課	
市立幼稚園の園庭開放を開園時間以外に開放し、在籍児はもとより未就園児、近隣幼児等の安全で安心して遊べる場所として提供するとともに、保護者の交流の場とします。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,729人 矢崎幼稚園 2,558人 みどり幼稚園 2,278人 小柳幼稚園 2,893人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 9,822人 矢崎幼稚園 2,263人 みどり幼稚園 5,119人 小柳幼稚園 2,440人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 10,487人 矢崎幼稚園 2,793人 みどり幼稚園 2,846人 小柳幼稚園 4,848人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 9,513人 矢崎幼稚園 2,711人 みどり幼稚園 2,348人 小柳幼稚園 4,454人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 10,053人 矢崎幼稚園 3,158人 みどり幼稚園 2,922人 小柳幼稚園 3,973人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 10,249人 矢崎幼稚園 3,458人 みどり幼稚園 2,885人 小柳幼稚園 3,906人	子育て相談の充実
平成26年度の 担当課評価	本事業は、幼稚園児の保護者等に定着している事業であり、実施目標を上回る成果が得られました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	4		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考							

-新規・重点事業-

53 市立幼稚園障害児保育		(目標3 保育サービスの充実)					学務保健課	
心に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児に対する幼児教育を充実します。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	各園4歳児1名	矢崎幼稚園 3人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 4人	矢崎幼稚園 7人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 5人 みどり幼稚園 1人 小柳幼稚園 4人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 4人 小柳幼稚園 4人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	各園4歳児2名・5歳児2名の受入
平成26年度の 担当課評価	各園3名から4名の心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児を受入れ、健常児とともに幼児教育を行っており、3園合計の受入人数は、ほぼ目標に近い数値を達成しています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

目標4 母と子どもの健康支援

		目標4 母と子どもの健康支援					健康推進課		
		(目標4 母と子どもの健康支援)					重点		
		生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標	
						実施目標	実績		
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員2,172人 延人員2,265人	新生児訪問 実人員2,068人 延人員2,164人	新生児訪問 実人員2,119人 延人員2,301人	新生児訪問 実人員2,209人 延人員2,335人	新生児訪問 実人員2,250人 延人員2,350人	新生児訪問 実人員1,955人 延人員2,389人	4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問及び必要な家庭への支援	
平成26年度の 担当課評価	新生児訪問時の状況により、必要な場合には、新生児訪問を担当した者がその後も訪問を行うなど継続性のある支援に取り組みました。未熟児の訪問件数(平成25年度延86件、26年度延102件)が増え、個々の発育状況に合わせた、より個別性の高い支援が求められています。								
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。		H22 2,422人 9人	H23 2,340人 9人	H24 2,222人 10人	H25 2,304人 10人	H26 2,249人 10人	訪問対象者数 訪問員(市職員) 9人 訪問指導員(委託) 11人	8人

-新規・重点事業-

55 乳幼児訪問(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)						健康推進課				
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行います。また、子どもの疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。								重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績		策定時の目標
		訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員		
実施状況	訪問件数 392人 実人員 459人 延人員	訪問件数 446人 実人員 552人 延人員	訪問件数 443人 実人員 663人 延人員	訪問件数 259人 実人員 567人 延人員	訪問件数 258人 実人員 360人 延人員	訪問件数 400人 実人員 500人 延人員	訪問件数 231人 実人員 310人 延人員	適切な時期での訪問 及び指導・助言の実 施 関係機関との連携、 支援				
平成26年度の 担当課評価	限られた時間と人員により必要な訪問を実施しましたが、目標達成には至りませんでした。来所による面接や、電話相談などによる助言・指導など訪問によらない支援も含めた評価が必要であると考えます。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											

-新規・重点事業-

56 3～4か月児健康診査・産婦健康診査(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)				健康推進課
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。						重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		実績	実績	実績	実績	実績
実施状況	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,248人 受診率 97.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,223人 受診率 97.3%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,371人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,337人 受診率 97.7%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,273人 受診率 97.1% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,254人 受診率 96.9%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,157人 受診率 97.1% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,137人 受診率 96.8%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,221人 受診率 96.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,198人 受診率 96.2%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,201人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,176人 受診率 97.6%
平成26年度の担当課評価	受診者数、受診率共に横ばいです。里帰り先での受診や、未熟児は医療機関で健診を受ける場合などもあり、受診率を100%にすることは困難ですが、未把握者ゼロを目指し未受診者把握フォローチャートにより対応していくことが重要であると考えます。					
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	3					
備考	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
	当初計画どおりに目標を達成することができた。					
	H23対象人数 3～4か月児健康診査 2,340人 産婦健康診査 2,326人	H24対象人数 3～4か月児健康診査 2,222人 産婦健康診査 2,208人	H25対象人数 3～4か月児健康診査 2,304人 産婦健康診査 2,285人	H26対象人数 3～4か月児健康診査 2,249人 産婦健康診査 2,230人		

1歳6か月児健康診査(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)				健康推進課		
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。						重点		
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	月4回 受診者数 2,269人 受診率 95.1%	月4回 受診者数 2,212人 受診率 94.1%	月4回 受診者数 2,314人 受診率 95.4%	月4回 受診者数 2,261人 受診率 95.2%	月4回 受診者数 2,198人 受診率 97.2%	月4回 受診率 97%	月4回 受診者数 2,245人 受診率 97.5%	未受診者0(ゼロ)を目指す
平成26年度の 担当課評価	受診率は目標値を達成していますが、最終的に未把握の事例をゼロにすることを目指して対応することが必要であると考えます。未受診者は、未受診者把握フローチャートに則り対応しています。海外に居住実態がある児童の把握・対応については今後も検討が必要であると考えます。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)				目標を達成できなかった要因や実施した代替策等	
備考	H23対象人数 2,426人	H24対象人数 2,374人	H25対象人数 2,262人	H26対象人数 2,302人				

-新規・重点事業-

58 3歳児健康診査(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)					健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	月3回 受診者数 2,000人 受診率 92.6%	月3回 受診者数 2,164人 受診率 92.5%	月3回 受診者数 2,272人 受診率 95.1%	月3回 受診者数 2,185人 受診率 93.3%	月3回 受診者数 2,274人 受診率 95.6%	月3回 受診率 95%	月3回 受診者数 2,223人 受診率 96.3%	未受診者0(ゼロ)を目指す
平成26年度の 担当課評価	受診率は目標値を達成しています。未受診者ゼロには至っていませんが未受診者把握フォローチャートに沿って未把握者をゼロにするよう対応しています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 当初計画どおりに目標を達成することができた。					目標を達成できなかった要因や実施した代替策等
備考	H23対象人数 2,390人	H24対象人数 2,342人	H25対象人数 2,378人	H26対象人数 2,308人				

-新規・重点事業-

母子健康手帳の配布(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)					健康推進課					
妊娠届時の母子健康手帳配布時に分かりやすい情報提供を行います。その際、アンケートを全件実施し、特定妊婦などの早期発見・早期支援や児童虐待の予防を図ります。また、配布時の相談体制を充実するため、保健センター分館での配布を積極的に推進していきます。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	妊娠届出数 2,460件 母子健康手帳配布数 2,469冊	妊娠届出数 2,466件 母子健康手帳配布数 2,479冊	妊娠届出数 2,320件 母子健康手帳配付数 2,338冊	妊娠届出数 2,347件 母子健康手帳配付数 2,368冊	妊娠届出数 2,366件 母子健康手帳配付数 2,382冊	妊娠届出数 2,405件 母子健康手帳配付数 2,427冊	子育て支援課、地域 で出産を扱う病院と の連携強化	妊娠届出数 2,405件 母子健康手帳配付数 2,427冊	配布時の相談体制の 充実 妊娠中から支援を 行ったケースの増加			
平成26年度の 担当課評価	妊娠届出時の面接やアンケートで要支援家庭を把握し、各教室への参加や個別の面接を実施するなど、妊娠中から支援を開始する事例が増加しています。平成27年度より、現状のアンケート内容では不十分な父親に関する情報把握の項目などを追加して実施の予定です。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	平成23年度から、本庁の子育て支援課に保健師を配置して母子健康手帳を交付しています。安心して出産に臨むことができよう、必要な情報提供に努めるとともに、特定妊婦を早期に発見し、支援につなげています。											

子育てサイトの充実(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)				子育て支援課
		パソコンや携帯を活用し、子育て団体のホームページにおいて子育て家庭が意見交換できるよう、コミュニティサイトの充実を図ります。				新規
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実施目標	実績
実施状況		子育て専用サイトの研究・検討を行いました。	子育てサイトを構築しました。	子育てサイトをスタートさせ、その運営及びコンテンツ等の内容の充実をはかりました。また、愛称を「ふわっと」に決定しました。	子育てサイトを継続して運営し、コンテンツ等の内容を充実	子育てサイトを継続して運営し、コンテンツ等の内容を充実
平成26年度の 担当課評価		これまで「施設・おでかけマップ」の一部として扱っていた「赤ちゃん・ふらっと」事業について、制度の周知啓発を図るため独立したコンテンツとして新たに「赤ちゃん・ふらっと」のページを作成しました。				
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。				
備考						

子育て情報の提供(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)					子育て支援課
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布し、子育て情報の周知を図ります。また、タイムリーな子育て情報を提供できるよう、母子健康手帳の配布時や健康診査時に一時保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター事業、児童虐待防止などの情報提供をします。	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」、文化センター・女性センター・市政情報センター等で、子育ての情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て支援課にて乳児医療証申請時に子育てのたまたま箱を配布しました。	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」、文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育ての情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」、文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育ての情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	子育て情報誌「子育てのたまたま箱」について、市民にとって見やすい活用しやすい誌面構成を行い、母子健康手帳交付時や子育て支援センター「たっち」、文化センター・女性センター等における子育ての情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」、文化センター・女性センター等における子育ての情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	子育て支援課 重点
実施状況	母子健康手帳配布時、子育て支援センター「たっち」、文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育ての情報誌「子育てのたまたま箱」の配布内容を充実させた改訂版の発行						
平成26年度の担当課評価	子育て情報誌「子育てのたまたま箱」について、前年に引き続き株式会社ゼンリンとの協働発行により作成し、市民の方にとってより見やすく、活用しやすい情報誌となるよう内容の充実やレイアウトの変更を行いました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

-新規・重点事業-

62 児童館における情報提供(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)					市民活動支援課
		子ども家庭支援センター「たち」や文化センター(児童館)において、それぞれの地域で実施している子育て情報などを掲示し、情報提供を充実します。					重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板への掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	地域で実施している子育て情報の収集と提供
平成26年度の担当課評価	ホームページでの情報提供のほか、文化センターで実施している子ども向けサークルに係る実施情報等を広報掲載・センターの掲示・チラシ告知だけでなく、メール配信システムを活用して情報提供するなど、多様な手段による情報提供を行いました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考							

63 地域子育てクラス(再掲)		(目標4 母と子どもの健康支援)					健康推進課	
子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場として、地域の公会堂や自治会館を会場とし、子育てクラスや未熟児及び多胎児を対象とした子育てクラスを実施することで、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	年12回 97組 相談件数 813件	1年22回 279組 2年5回 20組 の親子が参加	1年12回 96組 2年6回 57組 の親子が参加	1年11回 延69組 2年6回 延79組 の親子が参加	1年9回 延30組 2年6回 延62組 の親子が参加	1育児不安の強い親子を対象として実施する。 2未熟児及び障害児の親子を対象として実施する。	1年11回 延74組 2年6回 延51組 の親子が参加	年20回
平成26年度の 担当課評価	それぞれのグループが参加する親子にとって、情報交換や気持ち共有できる場になっています。また参加者が自らを振り返る機会になっています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

妊婦健康診査		(目標4 母と子どもの健康支援)					健康推進課
健康診査を行い、健康管理に努めることにより、妊産婦及び乳児の死亡率の低下を図るとともに、母子の健康と健全な養育環境を確保します。 特定妊婦の早期発見・早期対応を図るため、医療機関との連携を強化します。							重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績
実施状況	1回目 2,355人 2回目 2,775人 3回目 1,963人 4回目 1,988人 5回目 1,745人 超音波検査(35歳以上)	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続 延受診件数:40,552件	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続 延受診件数:24,417件	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続 延受診件数:27,288件	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続 延受診件数:26,889件	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続 延受診件数:27,996件	受診率の向上 医療機関との連携体制の整備
平成26年度の担当課評価	14回の公費負担を継続することにより、延受診回数も前年度より増加し、妊娠中の異状の発見や流産等の予防など妊婦の健康管理を行うことができました。妊婦健診を通じて、特定妊婦や要支援妊婦の状況を把握することができました。						
計画期間中の取組に対する担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。					
備考							

64

-新規・重点事業-

発達健康診査		(目標4 母と子どもの健康支援)					健康推進課
健康診査や相談事業の結果、運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる乳幼児に重点を置いて、発達健康診査を行い、早期発見、早期療育へつないでいけるよう支援します。 また、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績
実施状況	月1回 受診者数 67人	月1回 受診者数41人	月1回 受診者数38人	月1回 受診者数46人	年15回 受診者数 40人	年15回 各種健診の要フォロー児童等早期発見と療育につなげる	年15回 受診者数 62人
平成26年度の担当課評価	平成25年度より実施回数を増やしたことで、必要な人がより早期に専門機関につなげられる機会が増えました。また、関係機関との連携が強化されました。						
計画期間中の取組に対する担当課評価	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。					目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等
備考							

目標5 ひとり親家庭への支援

母子自立支援の相談 (目標5 ひとり親家庭への支援)		子育て支援課						
各母子家庭の状況や自立の阻害要件等の様々な問題について相談に応じ、自立に必要な情報提供や支援を行います。また、ひとり親家庭への支援情報について検索しやすい環境を整備し、提供方法の充実を図ります。 (1) 各母子家庭の抱える様々な問題について相談に応じ、それぞれの状況に合わせた支援をします。 (2) 就労に関する相談について、ハローワーク等の他機関との連携を強化して、相談体制を充実します。 (3) 母子自立支援プログラム事業についての情報を周知し、自立につながる環境を整備します。		重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	支援員 2人	支援員 2人	支援員 3人	支援員 3人	支援員 3人	支援員 3人	支援員 3人	母子家庭の精神的・経済的自立に向けての積極的な支援
平成26年度の 担当課評価	目標値を達成し、母子家庭への支援を充実できました。また、母子の自立を図るための事業を実施し、自立につながる環境整備に努めることができました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考								

66

ひとり親(母子・父子)家庭ホームヘルプサービス		(目標5 ひとり親家庭への支援)				子育て支援課		
義務教育修了前の児童がいるひとり親家庭に対し、一定の要件に該当する場合は、ホームヘルパーを派遣します。 派遣時間は、原則1日のうち午前7時～午後10時までの間で8時間(派遣回数は1日1回) 派遣回数は、1か月最大16回。ただし、技能修得のため職業開発センター等に通学している場合は1か月24回。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	派遣世帯 37世帯 派遣回数 延べ 2,122回	派遣世帯 23世帯 派遣回数 延1,410回	派遣世帯 28世帯 派遣回数 延1,237回	派遣世帯 32世帯 派遣回数 延1,428回	派遣世帯 31世帯 派遣回数 延1,285回	派遣世帯 31世帯 派遣回数 延1,619回	派遣世帯 45世帯 派遣回数 延1,900回	策定時の目標
平成26年度の 担当課評価	派遣にあたっては、必要性を見極め、適正な派遣に努めました。						ひとり親家庭の精神的、経済的自立に向けての積極的な支援	
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。						
備考	実施目標欄については、派遣実施の見込数を記載しました。							

-新規・重点事業-

68 児童扶養手当		(目標5 ひとり親家庭への支援)						子育て支援課				
18歳に達する年度未まで(中度以上の障害のある20歳未満)の児童を養育している母又は養育者で一定の要件に該当する場合に手当を支給します。また、手当の対象を父子家庭へ広げます。								重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	延対象者数 26,988人 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 27,584人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭に支給を平成22年8月分より開始	延対象者数 28,985人(父子家庭含む) 1人目 41,550円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 29,459人(父子家庭を含む) 1人目 41,430円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 29,670人(父子家庭を含む) 1人目 41,020円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 31,248人(父子家庭を含む) 1人目 41,020円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 29,627人(父子家庭を含む) 1人目 41,020円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	父子家庭への拡大 延対象者数 4,284人				
平成26年度の担当課評価	対象者数は昨年度から若干少なくなりましたが、適切な給付に努めました。											
計画期間中の取組に対する担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	実施目標欄については、対象者の見込数を記載しました。											

目標6 障害のある子どもと家庭への支援

障害者相談支援事業(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					障害者福祉課					
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績		策定時の目標
		相談支援実施件数と 利用延べ人数 み～な 4,622件 7,955人 あけぼの 2,490件 4,700人 ブラザ 5,341件 5,187人	相談支援実施件数と 利用延べ人数 み～な 4,387件 6,874人 あけぼの 3,581件 6,540人 ブラザ 4,335件 4,335人	相談支援実施件数 と利用延べ人数 み～な 8,511件 15,567人 あけぼの 3,533件 6,210人 ブラザ 4,128件 4,128人	相談支援実施件数 と利用延べ人数 み～な 6,032件 11,214人 あけぼの 3,451件 6,296人 ブラザ 4,651件 4,651人	相談支援実施件数 と利用延べ人数 み～な 2,463件 4,360人 あけぼの 4,366件 8,469人 ブラザ 3,065件 3,065人	相談支援事業 所との連絡会を充実 させる。 相談支援実施件数 と利用延べ人数 み～な 3,000件 5,300人 あけぼの 5,500件 11,400人 ブラザ 5,000件 5,000人	委託相談支援事業 所との連絡会 3センター連絡会 年6回 ブラザ市連絡会 年12回 相談支援実施件数 と利用延べ人数 み～な 2,811件 3,178人 あけぼの 5,750件 12,513人 ブラザ 2,557件 2,557人	相定相談支援事業所 3か所以上 相談支援件数 17,000件			
実施状況												
平成26年度の 担当課評価		<p>[み～なについて]実施目標値には達していませんが、前年度より相談件数は増えていきます。また、み～な全体での相談件数及び人数も増えていきます。</p> <p>他事業(就労支援)の相談件数 8,936件                      [あけぼのについて]相談件数は全体的に大幅に増えました。特にホームヘルプに関する相談、制度・年金等の情報の提供、通院・健康に関する相談が増えている状況です。</p> <p>[ブラザについて]他事業(計画相談支援)の相談が増え、結果的に相談支援事業の利用件数が減少しました。一方で、障害者福祉課での相談件数は増加傾向のため、連携強化し、委託先に相談利用がしやすくなる方法を検討する必要があります。</p> <p>目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p>										
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	<p>当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。</p>										
備考												

-新規・重点事業-

70 3～4か月児健康診査・産婦健康診査(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					健康推進課
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるように関係機関との連携を図ります。							重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,248人 受診率 97.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,223人 受診率 97.3%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,371人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,337人 受診率 97.7%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,273人 受診率 97.1% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,254人 受診率 96.9%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,157人 受診率 97.1% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,137人 受診率 96.8%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,221人 受診率 96.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,198人 受診率 96.2%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,201人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,176人 受診率 97.6%	適切な時期での訪問及び指導・助言の実施 関係機関との連携、支援
平成26年度の担当課評価	受診者数、受診率共に横ばいです。里帰り先での受診や、未熟児は医療機関で健診を受ける場合などもあり、受診率を100%にすることは困難ですが、未把握者ゼロを目指し未受診者把握フォローチャートにより対応していくことが重要であると考えます。						
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考	H23対象人数 3～4か月児健康診査 2,340人 産婦健康診査 2,326人		H24対象人数 3～4か月児健康診査 2,222人 産婦健康診査 2,208人		H25対象人数 3～4か月児健康診査 2,304人 産婦健康診査 2,285人		H26対象人数 3～4か月児健康診査 2,249人 産婦健康診査 2,230人

-新規・重点事業-

1歳6か月児健康診査(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)				健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成26年度		策定時の目標
					実施目標	実績	
実施状況	月4回 受診者数 2,269人 受診率 95.1%	月4回 受診者数 2,212人 受診率 94.1%	月4回 受診者数 2,314人 受診率 95.4%	月4回 受診者数 2,261人 受診率 95.2%	月4回 受診者数 2,198人 受診率 97.2%	月4回 受診者数 2,245人 受診率 97.5%	未受診者0(ゼロ)を目指す
平成26年度の 担当課評価	受診率は目標値を達成していますが、最終的に未把握の事例をゼロにすることを目指して対応することが必要であると考えます。未受診者は、未受診者把握フローチャートに則り対応しています。海外に居住実態がある児童の把握・対応については今後も検討が必要であると考えます。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。				
備考	H23対象人数 2,426人	H24対象人数 2,374人	H25対象人数 2,262人	H26対象人数 2,302人			

71

-新規・重点事業-

72 3歳児健康診査(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるように関係機関との連携を図ります。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	月3回 受診者数 2,000人 受診率 92.6%	月3回 受診者数 2,164人 受診率 92.5%	月3回 受診者数 2,272人 受診率 95.1%	月3回 受診者数 2,185人 受診率 93.3%	月3回 受診者数 2,274人 受診率 95.6%	月3回 受診率 95%	月3回 受診者数 2,223人 受診率 96.3%	未受診者0(ゼロ)を目指す
平成26年度の 担当課評価	受診率は目標値を達成しています。未受診者ゼロには至っていませんが未受診者把握フォローチャートに沿って未把握者をゼロにするよう対応しています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	H23対象人数 2,390人	H24対象人数 2,342人	H25対象人数 2,378人	H26対象人数 2,308人				

-新規・重点事業-

73 発達健康診査(再掲)										健康推進課	
(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)										重点	
健康診査や相談事業の結果、運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる乳幼児に重点を置いて、発達健康診査を行い、早期発見、早期療育へとつないでいけるよう支援します。 また、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。											
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標			
						実施目標	実績				
実施状況	月1回 受診者数 67人	月1回 受診者数41人	月1回 受診者数38人	月1回 受診者数46人	年15回 受診者数 40人	年15回 各種健診の 要フォロー児童等早期 発見と療育につなげ る	年15回 受診者数 52人	早期に専門的な支援 をするため、関係機 関との連携を強化			
平成26年度の 担当課評価	平成25年度より実施回数を増やしたことで、必要な人がより早期に専門機関につなげられる機会が増えました。また、関係機関との連携が強化されました。										
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目 標を達成することが できた。								
備考											

-新規・重点事業-

74	障害児保育(再掲)	(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					保育支援課	
		心身に障害のある子どもの保護者のニーズに応えるため、民間保育所の新設時などにあわせて入所定員枠を拡大します。					重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	63人	68人	69人	76人	85人	76人	98人	受け入れ増
平成26年度の 担当課評価	障害児の受け入れに努めました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況		(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
	2	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。						
備考								

-新規・重点事業-

75 市立幼稚園障害児保育(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)				学務保健課		
心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児に対する幼児教育を充実します。								
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	各園4歳児1名	矢崎幼稚園 3人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 4人	矢崎幼稚園 7人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 5人 みどり幼稚園 1人 小柳幼稚園 4人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 4人 小柳幼稚園 4人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	各園4歳児2名・5歳児2名の受入
平成26年度の 担当課評価	各園3名から4名の心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児を受入れ、健常児とともに幼児教育を行っており、3園合計の受入人数は、ほぼ目標に近い数値を達成しています。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

76 学童クラブ		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					児童青少年課	
保護者が就労等により昼間家庭にいないおおむね小学校3年生までの児童の健全育成を行います。7ブロック制による事業運営により、効率化と育成水準の向上を図り、入会希望児童全員を受け入れます。また、市民ニーズに合った学童クラブのあり方を検討します。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		
						実施目標	実績	
実施状況	22施設 1,765人	入会率 100% 22施設 1,700人	入会率 100% 22施設 1,659人	入会率 100% 22施設 1,676人	入会率 100% 22施設 1,759人	入会率 100% 22施設 1,809人(見込み)	入会率 100% 22施設 1,798人	育成環境の充実
平成26年度の 担当課評価		入会を希望する児童を全て受け入れることができました。入会児童数が大幅に伸びている日新学童クラブの育成室を増築し、児童の育成環境の改善を図りました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。						
備考	実施目標欄に記載の人数は、入所見込み数。							

77 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)				健康推進課	
		重点					
生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員 2,172人 延人員 2,265人	新生児訪問 実人員 2,068人 延人員 2,164人	新生児訪問 実人員 2,119人 延人員 2,301人	新生児訪問 実人員 2,209人 延人員 2,335人	新生児訪問 実人員 2,250人 延人員 2,350人	新生児訪問 実人員 1,955人 延人員 2,389人
平成26年度の 担当課評価	新生児訪問時の状況により、必要な場合には、新生児訪問を担当した者がその後も訪問を行うなど継続性のある支援に取り組みました。未熟児の訪問件数(平成25年度延86件、26年度延102件)が増え、個々の発育状況に合わせた、より個別性の高い支援が求められています。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	訪問対象者数 訪問員(市職員) 訪問指導員(委託)	H22 2,422人 9人 11人	H23 2,340人 9人 11人	H24 2,222人 10人 12人	H25 2,304人 10人 8人	H26 2,249人 10人 8人	

-新規・重点事業-

78 乳幼児訪問(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					健康推進課					
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行います。また、子どもの疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績		策定時の目標
		訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員	訪問件数 実人員 延人員		
実施状況	訪問件数 392人 実人員 459人 延人員	訪問件数 446人 実人員 552人 延人員	訪問件数 443人 実人員 663人 延人員	訪問件数 259人 実人員 567人 延人員	訪問件数 258人 実人員 360人 延人員	訪問件数 400人 実人員 500人 延人員	訪問件数 231人 実人員 310人 延人員	適切な時期での訪問 及び指導・助言の実 施 関係機関との連携、 支援				
平成26年度の 担当課評価	限られた時間と人員により必要な訪問を実施しましたが、目標達成には至りませんでした。来所による面接や、電話相談などによる助言・指導など訪問によらない支援も含めた評価が必要であると考えます。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。									
備考												

-新規・重点事業-

79 児童扶養手当(再掲)		(目標6 障害のある子どもと家庭への支援)					子育て支援課
18歳に達する年度未まで(中度以上の障害のある20歳未満)の児童を養育している母又は養育者で一定の要件に該当する場合に手当を支給します。また、手当の対象を父子家庭へ広げます。							重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度	
						実施目標	実績
実施状況	延対象者数 26,968人 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 27,306人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭に支給を平成22年8月分より開始	延対象者数 28,965人(父子家庭含む) 1人目 41,550円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 29,459人(父子家庭を含む) 1人目 41,430円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 29,670人(父子家庭を含む) 1人目 41,020円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 31,248人(父子家庭を含む) 1人目 41,020円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 29,627人(父子家庭を含む) 1人目 41,020円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭への拡大 延対象者数 4,284人
平成26年度の 担当課評価	対象者数は昨年度から若干少なくなりましたが、適切な給付に努めました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	実施目標欄については、対象者の見込数を記載しました。						

目標7 次代を担う人の育成と教育の充実

青少年健全育成強調事業		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					児童青少年課
市内11地区の青少年対策地区委員会が連携して、酒、たばこ、薬物そして性に関する正しい知識の周知やインターネットに潜在する危険から子どもを守るためフィルタリングの推奨など青少年の健全育成に対する理解を深める活動を実施します。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標 実績	
実施状況	不健全図書陳列区分調査等も含め、国分調査する「青少年の非行問題」(7月)に合わせたい事業、並びに「全青少年健全育成強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書陳列区分調査等も含め、国分調査する「青少年の非行・被害防止全」(7月)に合わせたい事業、並びに「子ども、業、並びに」若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書陳列区分調査等も含め、国分調査する「青少年の非行・被害防止全」(7月)に合わせたい事業、並びに「子ども、業、並びに」若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書陳列区分調査等も含め、国分調査する「青少年の非行・被害防止全」(7月)に合わせたい事業、並びに「子ども、業、並びに」若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書陳列区分調査等も含め、国分調査する「青少年の非行・被害防止全」(7月)に合わせたい事業、並びに「子ども、業、並びに」若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書陳列区分調査等も含め、国分調査する「青少年の非行・被害防止全」(7月)に合わせたい事業、並びに「子ども、業、並びに」若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	青少年が健全に育成される、社会環境の整備
平成26年度の担当課評価	市内11地区の青少年対策地区委員会が連携して、青少年の健全育成のため社会環境の整備に努めました。						
計画期間中の取組に対する担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

健康教育		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					指導室																					
心身の健康の保持増進に努め、一人ひとりの健康課題に対応するため、児童・生徒が自ら考え健康的な生活を実践する健康教育を推進します。喫煙防止や薬物乱用防止は保健の授業を中心に指導し、各学校の教育課程に適正に位置づけ、重点的に指導します。また、警察との連携でセーフティ教室や薬物乱用防止教室にも取り組みなど、健康教育を積極的に推進します。特に、児童・生徒の体力の向上については差し迫って重要な課題ですので、体力テストの実施結果を分析し、体力向上モデルプランの検証授業を実施します。							重点																					
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標																					
		実績	実績	実績	実績	実績																						
実施状況	体力テストの全校実施 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育の実施	小中学校全校で体力テストの実施 セーフティ教室等で喫煙防止教育・薬物乱用防止教育の実施	喫煙防止や薬物乱用防止について、学習指導要領に基づきセーフティ教室も実施 都の体力テストの実施及び結果分析し、家庭に向けて啓発	セーフティ教室等で薬物乱用防止や喫煙防止について指導した。また体力テストを実施し、その結果を分析し家庭に向けて啓発	都の体力テストを分析し、課題解決に向けた取組を推進した。また、セーフティ教室等を開催し、喫煙並びに薬物乱用防止教育を推進した。	都の体力テストの分析・活用を積極的に進め、課題解決に向けた継続的な取組を推進した。また、セーフティ教室等による喫煙防止教育・薬物乱用防止教育の実施	体力向上委員会の活用 体力・運動能力向上のための方策を検討 体力・運動能力向上モデル校の指定 体力向上モデルプランの作成 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育の継続実施 保健学習における充実を図り、小・中連携を視野に入れた教育の実施																					
平成26年度の担当課評価	セーフティ教室や保健の授業などにおいて、子供たちの発達段階に応じた健康教育を推進しました。また、体力向上については、当該年度から全小学校において、「ふちゅうろうブチャレンジ」を実施し、基礎体力向上に努めました。																											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標達成状況</th> <th colspan="5">(評価)及び1の場合のみ記入)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">目標達成状況</th> <th colspan="5">目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>当初計画どおりに目標を達成することができた。</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>							目標達成状況		(評価)及び1の場合のみ記入)					目標達成状況		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					3	当初計画どおりに目標を達成することができた。					
目標達成状況		(評価)及び1の場合のみ記入)																										
目標達成状況		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等																										
3	当初計画どおりに目標を達成することができた。																											
備考																												

-新規・重点事業-

性教育		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)						指導室
学校では、性教育については、学習指導要領に従い、保健の授業の中で指導しています。特に、児童・生徒が自己の心身の変化について気づき、主体的に学習を進めることやエイズ等の感染症についても指導を行っています。 今後とも、児童・生徒が正しい知識に基づき適切な行動ができるよう、生活指導の充実を図っていきます。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導を実施した	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づき、発達段階や特性に応じた指導を実施した。	学習指導要領に基づき、児童・生徒の発達段階、特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づき、発達段階や特性に応じた指導を実施した。	継続して実施並びに性被害防止等の指導の充実
平成26年度の 担当課評価	これまでと同様に、学習指導要領に基づき実施しました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

子育て情報の提供(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					子育て支援課
母子健康手帳配布時や子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布し、子育て情報の周知を図ります。また、タイムリーな子育て情報を提供できるよう、母子健康手帳の配布時や健康診査時に一時保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター事業、児童虐待防止などの情報提供をします。							重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て支援課にて乳児医療証申請時に子育てのたまたま箱を配布しました。年齢に合わせたリーフレットを作成し、健康診査時に配布しました。	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て支援課にて乳児医療証申請時に子育てのたまたま箱を配布しました。年齢に合わせたリーフレットを作成し、健康診査時に配布しました。	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布 健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布 健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	子育て情報誌「子育てのたまたま箱」について、市民にとっにより見やすく活用しやすい誌面構成を行い、母子健康手帳交付時や子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布 健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たっち」・文化センター・女性センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布 健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布	転入してくる子育て世帯への「子育てのたまたま箱」の配布 妊娠中の転入者への「子育てのたまたま箱」の配布に向けて転入時における案内の配布と希望者への送付 健康診査等における子育て情報パンフレットの配布
平成26年度の 担当評価	子育て情報誌「子育てのたまたま箱」について、前年に引き続き株式会社ゼンリンとの協働発行により作成し、市民の方にとってより見やすく、活用しやすい情報誌となるよう内容の充実やレイアウトの変更を行いました。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

84 いじめ、不登校、問題行動への対応		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					指導室	
いじめ、不登校、問題行動等は子どもの健全育成上の重要な課題ととらえ、早期発見、早期対応を心がけるとともに、教員が保護者等と連携し、子どものわずかな変化も見逃さないようアンテナを高くするなど、未然防止に向けた取組を積極的に推進します。サポートチーム作りの推進、関係機関との連携強化、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用など、問題解決に向け、積極的な対応を行っています。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取組を実施 関係諸機関と連携を強化する中で取組を推進	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取組を実施 関係諸機関と連携を強化する中で取組を推進	早期発見、早期対応のための実態把握 関係機関との連携、協働した問題行動への早期対応を進める とともに、未然防止に向けた取組を実施	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取組を実施 するとともに関係機関との連携し取り組んだ。	早期発見、早期対応を心掛け、未然防止に努めた。また、関係機関等と連携する中で、取組を推進した。	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取組の実施、関係機関との連携強化。	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取組を推進するとともに、関係機関と連携し取り組んだ。また、都の施策として、スクールカウンセラーと全小学5年生、中学1年生との全員面談を実施。	策定時の目標 関係機関との連携強化 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用
平成26年度の担当課評価	いじめ、不登校、問題行動等については、これまでと同様に、その未然防止に努めるとともに、各校においてきめ細かな対応に取り組みました。							
計画期間中の取組に対する担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

少人数指導等事業		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					指導室	
児童・生徒の学習の習熟に程度差がつかずやさいといわれている教科において、学習内容のつまづきや進度の程度に応じ、少人数編制による授業や複数の教員による個別指導など、きめ細かい指導を行います。個々の児童・生徒がもつ学習スタイル、方法の違いへの対応を、少人数指導やチームティーチングとして、複数の教員が分担・協力して指導し、充実した授業を展開します。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標
						実施目標	実績	
実施状況	すべての学校における算数・数学の少人数及びIT指導の実施 新たに理科指導支援員の全校配置 指導方法及び指導体制の充実	すべての学校における算数・数学の少人数またはIT指導の実施 また、理科指導支援員を継続配置した。	すべての学校において算数・数学の少人数指導またはIT指導を実施。また、理科指導支援員をすべての学校に配置。	学校経営支援事業として、各校の実態に合わせて指導を実施できた。	学校経営支援事業として、各校のニーズに合わせて指導を実施する。	学校経営支援事業として各校の実態に合わせて指導が実施できた。		全ての学校における算数・数学の少人数及びIT指導の実施 理科指導支援員の全校配置の継続 指導方法及び指導体制の充実
平成26年度の 担当課評価	都の加配教員や講師、学校支援員により、全校において少人数指導もしくはITを実施しました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考			当初計画どおりに目標を達成することができた。					

-新規・重点事業-

86 小学校国際理解教育		（目標7 次代を担う人の育成と教育の充実）						指導室				
21世紀を担う児童が、これからの国際社会に対応できるよう、外国の文化や生活、日本の文化などについて、英語活動などの体験的な学習を通して、国際社会に生きるために必要な基本的資質や能力、態度を養います。								重点				
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	3年生以上の学級数 x 15時間	ALTを活用した授業 ・小学校第3・4学年 1学級年間15時間 ・小学校第5・6学年 1学級年間25時間	ALTを活用した授業 ・小学校第3・4学年 2年間で1学級計20時 間 ・小学校第5・6学年 年間で1学級25時間	ALTを活用した授業 を実施した。 ・小学校3・4年 年で1学級9時間 ・小学校5・6年 年で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級計20時間 ・小学校5・6年 年で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級9時間 ・小学校5・6年 年間で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級9時間 ・小学校5・6年 年間で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級9時間 ・小学校5・6年 年間で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級9時間 ・小学校5・6年 年間で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級9時間 ・小学校5・6年 年間で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	ALTを活用した授業 ・小学校3・4年 年間で1学級9時間 ・小学校5・6年 年間で1学級25時間 ・中学校全学年 年間で1学級20時間	新学習指導要領に基づいた充実 ALT配置時数の拡大
平成26年度の 担当課評価	ALTを活用し、本格的な発音で英語活動を効果的に推進することができました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3											
備考	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等											

-新規・重点事業-

87		学校教育ネットワーク (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)										総務課・指導室
		子どもの情報活用能力の育成のため、市立小中学校33校、教育委員会、教育センター及び給食センターを結ぶ学校教育ネットワークを整備し、ICT(情報通信技術)を広く活用していきます。										重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	1学習支援システム 2教員支援システム 3校務支援システムの活用	グループウェアについて、現在のシステム環境により適したものとなるよう最新のバージョンに更新しました。	最新のバージョンに更新したグループウェアについて、活用の拡大を図るために、マニュアルの作成・研修会の実施等を企画・実施した。	学びの館(学校教育ネットワーク)における、校務支援システムにてグループウェアの現在活用できる機能を入力・活用し使用拡大を図るとともに、教務システムのうち「成績システム」のモデル校を確定させた。	成績システムについては、検討を重ねたが導入には至らなかった。	学校教育ネットワークを活用し、児童・生徒への教育に関し、ICT教育の推進を図る。	パソコン室のパソコンを活用し、指導を推進できた。また、情報モラル教育も築連段階に応じ実施した。	教育委員会システム等の構築・活用 既存のネットワークシステムの活用・改善・充実				
平成26年度の 担当課評価	情報化社会の進展に伴い、児童・生徒の情報活用能力の推進に取り組むとともに、情報化社会におけるリスクについて、加害・被害者にならないための情報モラル教育を推進しました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											

88 情報化社会における教育の充実		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					指導室	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標	
		平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績		
実施状況	ICT活用推進委員会の充実 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 生活指導上の課題として継続的な指導 セーフティ教室の全校実施	ICT活用推進委員会での検討 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 セーフティ教室の全校実施 情報モラルについて、生活指導として継続的指導	ICT活用推進委員会での情報教育の研究 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 セーフティ教室の実施のほか、生活指導として継続的指導	ICT活用推進委員会での情報教育の研修 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 セーフティ教室の実施のほか、生活指導として継続的指導	教員向けとしては、情報教育研修を実施した。 児童・生徒については、社会科や技術家庭科等での指導やセーフティ教室での指導を実施した。	情報教育研修の実施。 教科における情報教育やセーフティ教室の実施。	ICT活用推進委員会での情報教育の研修 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 セーフティ教室の実施のほか、生活指導として継続的指導	インターネットの問題について、関係機関と連携した指導の充実
平成26年度の 担当課評価	87と同様							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考		当初計画どおりに目標を達成することができた。						

-新規・重点事業-

職業観、就労意識の育成 (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)		指導室	
望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるためのキャリア教育を推進します。 特に、中学校においては職場体験を行うなど自らの将来の進路選択をより身近に感じることができるとともに将来の精神的・経済的自立を促す取り組みを行います。		重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度
		実績	実績
実施状況	市立中学校全校職場体験5日間実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	市立中学校全校の2年生が職場体験5日間実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	市立中学校全11校の2年生が5日間の職場体験学習を実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施
		平成24年度	平成25年度
		市立中学校全11校の2年生が5日間の職場体験学習を実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	市立中学校全11校の2年生が原則5日間の職場体験学習を実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施
		平成26年度	実績
		市立中学校全11校の2年生が5日間の職場体験学習を実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	全市立中学校において、2年生が5日間の職場体験学習を実施した。 子どもの発達段階に応じたキャリア教育を実施した。
平成26年度の担当課評価	市内中学校全校の2年生が5日間の職場体験を実施することができ、キャリア教育を推進することができました。		
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等		
	3	当初計画どおりに目標を達成することができた。	
備考			

-新規・重点事業-

学校図書館		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)						指導室
子どもたちの読書活動の推進や総合的な学習の時間の調べ学習など学校図書館のさらなる活用が求められることから、各学校に学校図書館指導補助員を配置し、学校図書館の機能の充実を図ります。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	学校経営支援事業として、各校の実態に合わせた指導が実施できた。	学校経営支援事業として、各校のニーズに合わせた指導を実施する。	学校経営支援事業と合わせて、各校の実態に合わせた指導が実施できた。	専任司書教諭の配置(都へ要望) 都指導補助員の派遣 時数拡大に向けた検討 学校図書システム 化、ネットワーク化の 進捗よく状況に合わせ 総合的に指導方法 等を検討
平成26年度の 担当課評価	校長裁量により、学校の実態に合わせた配置ですが、市内全校に学校図書館支援員を配置することで、子供たちの読書活動を推進することができました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

ハケ岳移動教室(セカンドスクール)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					学務保健課	
学校の教育課程に位置づけて、現地で体験学習、集団生活及び体力増進を目的とした移動教室を実施します。また、長期の宿泊体験ができるセカンドスクールの実施を目指します							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標
						実施目標	実績	
実施状況	小学校5年生を対象に年1回ハケ岳周辺で実施 二泊三日 22校 参加児童数 2,125人 参加率 99.3%	小学校5年生を対象に年1回ハケ岳周辺で実施 二泊三日 20校 四泊五日 2校 (セカンドスクール) 参加児童数 2,155人 参加率 99.0%	小学校5年生を対象に年1回ハケ岳周辺で実施 四泊五日 22校 参加児童数 2,167人 参加率 98.9%	小学校5年生を対象に年1回ハケ岳周辺で実施 四泊五日 22校 参加児童数 2,172人 参加率 99.4%	小学校5年生を対象に年1回ハケ岳周辺で実施 四泊五日 22校 参加児童数 2,212人 参加率 99.4%	小学校5年生を対象に年1回ハケ岳周辺で実施 四泊五日 22校 参加児童数 2,194人 参加率 99.5%		小学校5年生を対象に4泊5日で全校実施 ハケ岳府中山荘を中心に府中版セカンドスクールを実施 体験学習は、ハケ岳周辺で実施
平成26年度の 担当課評価	全校で実施し、参加率は実施目標99.0%としていたところ、実績99.5%と目標を達成できました。 体験学習については、ハケ岳周辺で農業・酪農体験、ほうとう作り体験、ハイキング、渓流釣り体験、工場等の見学など通常学校では体験できない学習を行い、友達や先生と糧食を共にすることにより心のふれあいを図り、豊かな人間性を育むことができました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。					
備考	移動教室は、平成23年度よりセカンドスクールとして4泊5日の日程で全校で実施。							

-新規・重点事業-

青少年健全育成市民活動 (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)										児童青少年課		
青少年対策地区委員会、PTA連合会、小中学校校長会及び府中警察署との連携のもとに、地域パトロールの実施や子ども緊急避難の家の普及など地域における青少年健全育成の充実を図ります。										重点		
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績		策定時の目標
		実績										
実施状況	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店120店 緊急避難の家 1,896件	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店133店 緊急避難の家 1,849件	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店144店 緊急避難の家 1,895件	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店142店 緊急避難の家 1,886件	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店145店 緊急避難の家 1,856件	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店160店 緊急避難の家 1,900件	地域のパトロールや懇談会など地域活動青少年健全育成協力店147店 緊急避難の家 1,865件	青少年が健全に育成される、社会環境の整備				
市内11地区の青少年対策地区委員会が連携して、青少年の健全育成のため社会環境の整備に努めました。												
平成26年度の 担当課評価	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2 当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											
備考												

-新規・重点事業-

中学校部活動外部指導員 (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)										指導室
地域の人びとに部活動の指導員になっていただくことにより、市立中学校における部活動の振興を図ります。 幅広く人材を確保するために、人材の登録制度も視野に入れて取り組んでまいります。										重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標		
						実施目標	実績			
実施状況	22種目	部活動外部指導員の 登用 110名	66部 123名	74部 118名	70部110名	技術指導のできる顧問が不在となった部活動への部活動指導員の登用	76部109名	時間の拡大 人材の拡大		
平成26年度の担当課評価										
学校のニーズまでは、外部指導員数が充足できていませんが、外部指導員を導入することにより、中学校の部活動が活発に活動できました。										
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価										2
目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等										
当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。										
備考										

-新規・重点事業-

放課後子ども教室事業		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					児童青少年課														
子どもの居場所づくりとして、小学校施設を活用して実施します。日々の子どもの見守りは委託したNPO法人や青少年育成団体が行います。学校の制度への理解と実施場所の提供や家庭と地域の方々の協力が不可欠であるため、実施校ごとに実行委員会を組織し、理解と協力を図ります。							重点														
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成26年度		策定時の目標														
					実施目標	実績															
実施状況	実施校 市内22校全 校	実施校 市内22校全 校	実施校 市内22校全 校	実施校 市内22校全 校	実施校 市内22校全 校 児童クラブとの連携 の推進 上	実施校 市内22校全 校 児童クラブとの連携 の推進 上 高学年の参加率の向 上	児童クラブとの連携 をすすめる														
平成26年度の 担当課評価	引き続き全小学校で実施することができました。児童クラブとの連携では、家庭や体育館と一緒に遊んだり、双方のイベントに招待するなどの交流活動を行いました。活動内容ではスポーツ活動や、手芸、工作等を充実した結果、高学年の参加を増やすことができました。また夏休みに昼食持参を可能にするなど、利用者のニーズに合わせた運営を行うことができました。																				
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<table border="1"> <tr> <td>目標達成状況</td> <td colspan="6">(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="6">当初計画どおりに目標を達成することができた。</td> </tr> </table>							目標達成状況	(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						3	当初計画どおりに目標を達成することができた。					
目標達成状況	(評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等																				
3	当初計画どおりに目標を達成することができた。																				
備考																					

95 児童館の活用(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)										子育て支援課・市民活動支援課
												重点
市内11か所にある児童館において、子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員を各館の状況に応じた配置を行います。また、児童館に子育てボランティアを配置し、親同士の交流や親子の悩みを相談し合える場づくり、親同士の仲間づくりを図ります。												
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
実施状況	[児童館指導員] 週5日(平日)4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)2~3時間/日 夏休み等長期休暇中4時間/日	各児童館の事情に応じた児童館指導員の配置 平日の午前中に子育てボランティアを配置し、子育て家庭が美しい、交流や情報収集ができる場の提供								
平成26年度の担当課評価	[児童館指導員] 児童館指導員の配置については現時点での実施目標は達成されていますが、できれば全センターに土日も含め、常時配置するのが子供の居場所確保につながり望ましいと考えます。 [平日午前のボランティア配置] 文化センターの児童館等で子育てボランティアによる子育てひろばを開始し、親同士の交流や親子の悩みを相談し合える場や親同士の仲間づくりの場を提供し、より子育てしやすい環境の充実に努めます。											
計画期間中(平成22~26年度)の取組に対する担当課評価	3	目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等										
備考		当初計画どおりに目標を達成することができた。										

-新規・重点事業-

96 学童クラブ(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					児童青少年課	
保護者が就労等により昼間家庭にいないおおむね小学校3年生までの児童の健全育成を行います。7ブロック制による事業運営により、効率化と育成水準の向上を図り、入会希望児童全員を受け入れます。また、市民ニーズに合った学童クラブのあり方を検討します。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	22施設 1,765人	入会率 100% 22施設 1,700人	入会率 100% 22施設 1,659人	入会率 100% 22施設 1,676人	入会率 100% 22施設 1,759人	入会率 100% 22施設 1,809人(見込み)	入会率 100% 22施設 1,798人	育成環境の充実
平成26年度の 担当課評価	入会を希望する児童を全て受け入れることができました。入会児童数が大幅に伸びている日新学童クラブの育成室を増築し、児童の育成環境の改善を図りました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画どおりに目標を達成することができた。						
備考	実施目標欄に記載の人数は、入所見込み数。							

小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)				図書館
小学4～6年生を対象に、テーマごとに楽しい本の紹介を行います。小学生にとって時間の余裕のある土曜日に設定することで、図書館の利用を促し、読書の楽しさを得てもらいます。						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		実績	実績	実績	実績	実施目標 実績
実施状況		年5回 28人	年5回 16人	年5回 33人 (中央図書館)	年5回 41人 (中央図書館)	年4回 27人 (中央図書館)
平成26年度の 担当課評価		平成26年度は年4回図書館で開催しました。施設内及び隣接公園の他イベントと日時が重なることもあり、1回あたりの参加者が伸び悩みました。図書館での「よむよむ探検隊」のほか、市内小学校3校(対象399名)にブックトークを行い、今後多くの児童にブックトークを通して読書の楽しさを伝えていきます。				
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった。当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。				
備考	よむよむ探検隊の一環として、平成25年度に小学校3校(対象443名)にブックトークを行いました。多くの児童にブックトークを通して読書を楽しんでもらうために、平成26年度も諸学校に向いてブックトークを行い、図書館での開催は4回とします。					

-新規・重点事業-

98 中高生ひろば事業 (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)										児童青少年課	
様々な興味を引き出し、より本格的な活動へのきっかけとして、中学生や高校生を対象とした講座等を実施します。また、中高生を中心とした活動組織の確立に向けた支援を行います。										重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績		平成25年度 実績		平成26年度 実績	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
実施状況	4コース 延べ 20回 ヒップホップダンス講座 イラスト講座 延べ 119名	3コース 延べ 14回 延べ 88名	実行委員会7回 講座 1回	夏の料理講座 1回 軽音楽講座 4回 を中高生を中心とした実行委員会にて実施。	未実施	中高生の居場所作りのきっかけや交流を深める機会を提供するために中高生向けの体験型の事業を実施する	未実施	未実施	未実施	5コース 延べ 25回	
平成26年度の 担当課評価	中高生の余暇時間の減少や趣味や関心のあることが多様化してきたため、講座型の事業実施が難しくなりました。										
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	1		<p>目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p> <p>当初計画から大幅な変更や遅れがあり、目標を達成することができなかった。</p> <p>平成25年度に中高生に対し実行委員を募集したところ応募が無く実施できなかったことを受け、本年度は中高生同士が集まれるきっかけを作れるような体験型の事業を計画しましたが、団体との調整がつかず事業を実施するに至りませんでした。</p> <p>なお、今年度は早い時期に調整を進めます。</p>								
備考											

子どもふれあいボランティア (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)										子育て支援課 ・保育支援課		
子どもとふれあう機会として、子ども家庭支援センター及び保育所で中学生・高校生のボランティアを募集し受け入れます。										重点		
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実施目標	実績			
実施状況	保育所 子ども家庭支援セン ター「しらとり」ポプコー ン会場	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所で、職場体験ボ ランティアの中学生 66人、夏のポランティ ア体験の高校生99 人、その他637人を 受け入れました。	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所で職場体験ボラ ンティアの中学生を 118人、夏のポラン ティア体験で66人受 け入れました。	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所で職場体験ボラ ンティアの中学生を 126人、夏のポラン ティア体験で74人受 け入れました。	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所で職場体験ボラ ンティアの中学生を 130人、夏のポラン ティア体験で64人受 け入れました。	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所で、職場体験ボ ランティアの中学生、 夏のポランティア体 験の中高生等の受け 入れ	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所で職場体験ボラ ンティアの中学生を 142人、夏のポラン ティア体験で67人受 け入れました。	子ども家庭支援セン ター「たっち」及び保 育所 子ども家庭支援セン ター「たっち」しらと り、 ポプコーン会場				
平成26年度の 担当課評価	学生の職場体験としての場を提供しました。学生の道徳心等の育成にもつながったと考えます。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画どおりに目 標を達成することが できた。											

おはなし会(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					図書館					
おはなし(ストーリーテリング)や絵本の読み聞かせを通し、読書の楽しみ、想像力をはぐくむきっかけとします。平成21年度からは、中央図書館は毎週木曜日(小学生対象の回に参加がほとんどないことより1日2回から1回へ(但し、小学生向けに別事業実施))及び第1土曜日、地区図書館は毎月1回、図書館職員と市民であるおはなしボランティアとの協働で行っています。また、中央図書館では、夏と冬各1回、おたのしみおはなし会を行っています。							重点					
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	中央図書館 1,691人 (内子ども58人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 58人(内子ども58人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 35人(内子ども35人) 地区図書館 35回 342人(内子ども275人)	中央図書館 782人 (内子ども588人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 49人(内子ども43人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 29人(内子ども25人) 地区図書館 125回 1,109人(内子ども822人)	中央図書館 871人 (内子ども691人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)45人(内子ども38人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 29人(内子ども24人) 地区図書館 139回 1,135人(内子ども829人)	中央図書館 945人 (内子ども690人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 44人(内子ども36人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 32人(内子ども23人) 地区図書館 141回 1,104人(内子ども809人)	中央図書館 1,159人 (内子ども838人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 48人(内子ども34人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回30人(内子ども24人) 地区図書館 136回 1,050人(内子ども766人)	中央図書館 1,100人 (内子ども850人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 60人(内子ども50人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回50人(内子ども40人) 地区図書館 131回 1,050人(内子ども750人)	中央図書館 1,104人 (内子ども868人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 48人(内子ども33人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回33人(内子ども26人) 地区図書館 134回 2,500人(内子ども689人)	中央図書館 1,700人 夏のおたのしみおはなし会(中央)1回 60人 (内子ども60人) 冬のおたのしみおはなし会(中央)1回 60人 (内子ども60人) 地区図書館 144回 2,500人 (内子ども2,380人)				
平成26年度の担当課評価	中央図書館・地区図書館ともにPR効果があり、参加者が定着してきています。中央図書館では全体としては少々減少していますが、子どもの参加者数は増加しています。子ども本人の参加回数が増え、おはなし会に慣れてきたことにより、子ども一人で参加できるようになってきたためかと思われます。また、地区図書館では、人数が減少していますが、押立図書館が改築のためおはなし会が2回程度だったことが2回程度だったことによるものです。											
計画期間中(平成22～26年度)の取組に対する担当課評価	目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかつた要因や実施した代替策等											
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											
備考	2											

ちいさい子のおはなし会(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)				図書館						
1・2歳の乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうたなどを行い、読書やことばの楽しさを知ってもらい、子どもと保護者のふれあいを促します。平成21年度から、中央図書館は毎月第2・4木曜日、地区図書館は各館毎月1回、市職員と市民によるおはなしボランティアと協働で実施しています。						重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度						
		実績	実績	実績	実績	実施目標 実績						
実施状況	中央図書館 24回 825人 (内子ども419人) 地区図書館 46回 942人 (内子ども488人)	中央図書館 22回 633人 (内子ども323人) 地区図書館 125回 1,563人 (内子ども831人)	中央図書館 24回 579人 (内子ども295人) 地区図書館 138回 1,808人 (内子ども968人)	中央図書館 23回 634人 (内子ども319人) 地区図書館 141回 1,786人 (内子ども829人)	中央図書館 24回 640人 (内子ども347人) 地区図書館 136回 1,843人 (内子ども995人)	中央図書館 24回 700人 (内子ども350人) 地区図書館 131回 1,800人 (内子ども900人)	中央図書館 24回 680人 (内子ども353人) 地区図書館 133回 1,603人 (内子ども843人)	中央図書館は現状維持 地区図書館 144回 2,880人 (内子ども2,440人)				
平成26年度の 担当課評価	おはなし会日程表を行事やイベントで配布するなどの効果により、中央図書館では前年度より参加人数が増加しています。常連の方の参加も見られ、少しずつですが定着してきているようです。また、地区図書館では、押立図書館の改築にともない、おはなし会がなかったため、全体の数が減少したと思われ、なお、赤ちゃんや乳児、幼児を連れての参加になるため、天候に左右されることも考えられます。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)</th> <th>目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等	2	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。	
目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等										
2	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											
備考												

赤ちゃん絵本文庫(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					図書館	
							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	利用登録者数 927人 貸出人数 247人 貸出冊数 798冊	利用登録者数 917人 貸出人数 205人 貸出冊数 639冊	利用登録者数 914人 貸出人数 259人 貸出冊数 852冊	利用登録者数 920人 貸出人数 197人 貸出冊数 529冊	利用登録者数 1,050人 貸出人数 194人 貸出冊数 565冊	利用登録者数 950人 貸出人数 200人 貸出冊数 800冊	利用登録者数 1,038人 貸出人数 173人 貸出冊数 535冊	利用登録者数 1,300人 貸出人数 500人 貸出冊数 1,100冊
平成26年度の 担当課評価	職員とボランティアで、絵本の読み聞かせやわらべうたの本の紹介、赤ちゃんの図書館利用登録、図書館利用登録、赤ちゃんの読書への声かけを行います。利用登録者数は実施目標を超えました。赤ちゃんの利用者登録や絵本の貸出について積極的に声かけを行います。また、荷物の多さや天候などにより、貸出者数が減少したと思われま							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった。当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。					
備考								

図書サービス(再掲)		(目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)					図書館	
区分		現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
			実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況		ブックトーク講習会 一般・教師等対象 全 3回 21人 キャンペーン「たびた びよんでほんのた び」子ども対象 768 人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 917人 出前講座 計4回117 人(内子ども11人) 学校への事業(ブック トーク等) 計4校 253人(内子ども200 人)	学校司書教諭・指導 補助員等へのブック トーク等研修 3回 キャンペーン「たびた びよんでほんのた び」子ども対象 772 人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 876人 出前講座 計4回93 人 学校への事業 計2校 164人(内子ども124 人)	子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象1,630人 夏休み読書キャン ペーン「この本よんだ かい！」子ども対象 968人 出前講座 計3回52 人 学校への事業 計3校 276人(内子ども265 人)	学校図書館指導補助 員への学級貸出・配 送便の説明 子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象1,399人 夏休み読書キャン ペーン「この本だ いすき！」子ども対象 876人 出前講座 計2回22 人 学校への事業 計6校 287人(内子ども274 人)	学校図書館担当者連 絡での学級貸出・配 送便の説明 子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象1,300人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 1,000人 出前講座 計2回40 人 学校への事業 計5 校	学校図書館担当者連 絡での学級貸出・配 送便の説明 子ども読書キャン ペーン「たびたびよん でほんのたび」子ど も対象2,206人 夏休み読書キャン ペーン「本の木だ いすき！」子ども対象 813人 出前講座 計1回19 人 学校への事業 計8 校772人(内子ども 738人)	キャンペーン 参加子ども人数 1,000人 夏休み読書キャン ペーン 参加子ども人数 1,200人 出前講座 6回 学校への事業 6校
平成26年度の 担当課評価		子ども読書キャンペーンについては、前回テーマの「のりもの」より、さらに多くの子どもが興味を持てるよう、「どうぶつ」としました。動物の出でくる本も多くあるため、参加しやすかったようで、参加者数は大幅に増加しました。学校への事業については、平成25年度からブックトークの依頼が増え、平成26年度も同じく依頼があり実施することができたため、ほぼ昨年並みの実績となりました。今後実施が定着することを期待します。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等						
備考		当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。						

-新規・重点事業-

104	ジュニアスポーツ指導者育成 (目標7 次代を担う人の育成と教育の充実)		生涯学習スポーツ課				
子どもたちがスポーツを心から楽しむために、スポーツ精神を理解し、指導、助言、伝授する指導者の資質の向上のための支援事業を行います。							
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	
実施状況	ジュニアスポーツ指導者講習会年3回 177人参加 「スポーツ事故と法的責任」参加者数 105人 「子どもからだつくり(実技)」参加者数 38人 「栄養学」参加者数 34人	ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数 0回	ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数1回 「子どもたちの能力を向上させるためのコーチングとは？」 65人参加	ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数2回 69人参加 「子どもの体力の変遷とスポーツ・身体活動」 43人参加 「指導に役立つ非言語コミュニケーション」 26人	ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数2回74人参加 「子どものやる気を引き出すには」 41人参加 「チャレンジできる子どもを育てよう」 33人参加	ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数2回延95人参加 「理論に裏付けられたコーチング」	指導者の資質向上
平成26年度の担当課評価	目標回数を実施し、参加者数も増加していることから、効果はあったと考えられています。今後も多くの指導者に参加していただけるよう、ニーズに適した講習会を開催できるように検討していきます。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等				
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。						

目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進

105		ワーク・ライフ・バランス啓発事業 (目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進)						市民活動支援課
区分	実施状況	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
			実績	実績	実績	実績	実施目標 実績	
		講演会及び職員研修を実施 本市職員を対象としたワーク・ライフ・バランス啓発パンフレットの作成・配布 ワーク・ライフ・バランスに関する情報の収集・提供	ワーク・ライフ・バランスをテーマに男女共同参画週間記念講演会を実施しました。庁内情報誌ワーク・はあと・ライフの発行	ワーク・ライフ・バランスをテーマに男女共同参画週間記念講演会を実施しました。庁内情報誌ワーク・はあと・ライフの発行	ワーク・ライフ・バランスをテーマに男女共同参画週間記念講演会を実施しました。	ワーク・ライフ・バランスをテーマにした内容の講演会等を実施します。職員の意識啓発としてワーク・はあと・ライフの発行をします。	男女共同参画週間事業及びワーク・ライフ・バランスの中でワーク・ライフ・バランスに関する講演会を実施しました。職員向けの研修を実施し、市職員の意識啓発に努めました。	男女共同参画の視点から、時勢に応じたワーク・ライフ・バランスの講座等の積極的な実施 市職員の意識調査や市内外への啓発・支援等の実施
平成26年度の 担当課評価		男女共同参画週間事業及びフォーラムの中でワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催したほか、市職員向けの講演会を開催しました。より多くの参加者が得られるように実施方法を検討するとともに、引き続き市民及び市職員の意識啓発に努めていきます。						
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)	目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
			当初計画どおりに目標を達成することができた。					
備考								

-新規・重点事業-

106		一般事業主行動計画策定の推進 (目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進)										子育て支援課
		「次世代育成支援対策推進法」では、301人以上(平成23年4月1日以降は101人以上)の労働者を雇用する事業主は、一般事業主行動計画を策定し、速やかに労働局に届けることとなっております。 300人以下(平成23年4月1日以降は100人以下)の場合は、同様の努力義務があるとしていますが、努力義務企業に対して一般事業主行動計画を策定するよう啓発していきます。また、一般事業主行動計画の認定を受けた市内企業を市のホームページなどで公表していきます。										新規
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			
実施状況		一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	努力義務企業の「一般事業主行動計画」策定促進
平成26年度の 担当課評価	前年に引き続き、制度等の周知に重点を置いた取組を行いました。											
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3											
備考	目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等											

特定事業主行動計画の推進 (目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進)										職員課		
<p>「次世代育成支援対策推進法」では、国や地方公共団体の機関に対して、特定事業主としての取組を行動計画に示すことを義務付けています。府中市では、府中市特定事業主行動計画後期計画を策定し、その取組を実行することにも、市のホームページなどで公表します。また、毎年度、取り組み状況について市のホームページなどで公表していきます。</p>										重点		
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績					
実施状況	<p>出産支援休暇(2日以上取得)率80.6% 子育て意識啓発目的研修の実施 男性職員の育児休業取得 1人 水曜日定時退行</p>	<p>制度や計画の周知(子育て関連制度のリーフレット作成・配付、職員報への掲載、記事の掲載) 育児休業者への職員報配付 水曜日の定時退行の励行</p>	<p>育児休業経験者へのアンケート 水曜日の定時退行の励行 育児休業者への職員報配付</p>	<p>制度や計画の周知(育児休業経験者アンケートの結果公表、職員報への掲載) 育児休業者への職員報配付 水曜日の定時退行の励行</p>	<p>制度や計画の周知(職員報への関連記事の掲載) 育児休業者への職員報配付 水曜日の定時退行の徹底</p>	<p>制度や計画の周知(職員報への関連記事の掲載等) 水曜日の定時退行の徹底</p>	<p>制度や計画の周知(職員報への関連記事の掲載等) 水曜日の定時退行の徹底</p>	<p>出産支援休暇(2日以上取得)率100% 男性職員の育児休業取得者の増加</p>				
平成26年度の担当課評価	<p>後期計画5年目である平成26年度は、引き続き制度等の周知に努めたほか、水曜日の定時退行については「超過勤務縮減の取組」の一つとして改めて全庁的な取組として位置づけを行い、徹底を図ることができました。</p>											
計画期間中の取組に対する担当課評価	2		<p>目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</p>									
備考	<p>当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。</p>											

子育て関連団体と地域とのネットワーク化(再掲)		(目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進)				子育て支援課
子育てに関わる団体等による組織を設け、団体間の情報交換や地域の実情に応じた取り組みを支援します。						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		実績	実績	実績	実績	実績
実施状況	地域子育てひろば活動団体との情報交換	子育てひろば団体交流会を実施し、202組、399人の親子が参加しました。	子育てひろば団体交流会を実施し、189組、364人の親子が参加しました。	子育てひろば団体交流会を実施し、267組、530人の親子が参加するなど、子育てひろば等の地域グループの活動支援を継続し、子育て関係団体と地域とのネットワーク化を図りました。	子育てひろば団体交流会を実施し、184組、377人の親子が参加するなど、子育てひろば等の地域グループの活動支援を継続し、子育て関係団体と地域とのネットワーク化を図りました。	子育てひろば団体交流会を実施し、261組、532人の親子が参加するなど、子育てひろば等の地域グループの活動支援を継続し、子育て関係団体と地域とのネットワーク化を図りました。
策定時の目標						ひろば会議の継続並びに子ども家庭支援センター運営協議会における子育て関係団体と地域のネットワーク化
平成26年度の 担当課評価	市内で子育てひろばを実施している方達と共催で、ルミエール府中において「ひろげよう！子育てひろばのわ」という交流会を開催しました。出産を控えた妊婦と育児中の母親たちが交流できる機会も作りました。					
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等			
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。					

目標9 安全・安心のまちづくりの推進

		（目標9 安全・安心のまちづくりの推進）					地域福祉推進課					
		（目標9 安全・安心のまちづくりの推進）					重点					
区分	現状 （策定時）	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績					
実施状況	施設整備事前協議件数 119件 福祉環境整備事業の助成 2件 バリアフリーマップの印刷 1,000部 福祉まつりでのPR活動の実施	施設整備事前協議件数 135件 福祉環境整備事業の助成 4件 福祉まつりでのPR活動の実施	施設整備事前協議件数 110件 福祉環境整備事業の助成 2件 福祉まつりでのPR活動の実施	施設整備事前協議件数 112件 福祉環境整備事業の助成 4件 福祉まつりでのPR活動の実施	施設整備事前協議件数 103件 福祉環境整備事業の助成 4件	施設整備事前協議件数 109件 福祉環境整備事業の助成 4件 福祉まつりでのPR活動の実施	施設整備事前協議件数 99件 福祉環境整備事業の助成 2件 福祉まつりでのPR活動の実施			子どもの視点に立ったデザインの充実		
平成26年度の 担当課評価	今年度の実績は、目標をやや下回りました。施設整備にあたっては、だれでもトイレ（ベビーベッド、ベビーチェアが整備されている）やエレベーターの設置を進め、子ども・妊産婦・子どもづれの方（ベビーカー利用者）が快適に暮らせるまちづくりを推進しました。											
計画期間中 （平成22～26年度） の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況（評価0及び1の場合のみ記入） 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等									
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。											

110 キッズデザインの啓発		(目標9 安全・安心のまちづくりの推進)					子育て支援課														
子どもの視点に立った、子どもが安全で安心できる環境づくりを目指すキッズデザイン重視の事業を展開していくため、キッズデザインの普及・啓発に努めます。							新規														
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度															
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績														
実施状況	キッズデザインの内容	ユニバーサルデザインの観点から、市庁舎を都の実施する「赤ちゃん・ふらっと」対象施設となるよう庁舎管理の部署と調整し、その認定を受けました。	ユニバーサルデザインの観点から、都の実施する「赤ちゃん・ふらっと」について、子育てサイトや子育てのたまたま箱を活用し、周知・啓発に努めました。	ユニバーサルデザインの観点から、都の実施する「赤ちゃん・ふらっと」について、子育てサイトや子育てのたまたま箱を活用し、周知・啓発に努めました。	都の実施する「赤ちゃん・ふらっと」について、子育てのたまたま箱を活用し、周知・啓発に努めるとともに市所定の29施設について、新たに「赤ちゃん・ふらっと」設置施設としての対応を開始しました。また、民間施設に対し、「赤ちゃん・ふらっと」登録を行いました。	ユニバーサルデザインの観点から、都の実施する「赤ちゃん・ふらっと」について、機会を捉えて周知・啓発していく。	「赤ちゃん・ふらっと」について、子育てサイトや子育てのたまたま箱を活用し、周知・啓発に努めるとともに市の施設所管課等に働きかけ、新たに2施設が「赤ちゃん・ふらっと」を開始しました。	関係機関に対し、キッズデザインの普及・啓発													
平成26年度の 担当課評価	「赤ちゃん・ふらっと」について機会を捉えて周知・啓発を行い、実際に「赤ちゃん・ふらっと」の開始につなげることができました。また、「赤ちゃん・ふらっと」の更なる普及啓発に向けた次年度につながる取組として、平成26年度補正予算にて国の交付金を活用した子育てにやさしいまちづくり事業を検討・予算要求し、この予算が議決されました。																				
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)</td> <td colspan="5">目標を達成できなかった要因や実施した代替策等</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3</td> <td colspan="5">当初計画どおりに目標を達成することができた。</td> </tr> </table>							目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					3		当初計画どおりに目標を達成することができた。				
目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入)		目標を達成できなかった要因や実施した代替策等																			
3		当初計画どおりに目標を達成することができた。																			
備考																					

-新規・重点事業-

自転車利用の推進 (目標9 安全・安心のまちづくりの推進)										地域安全対策課
中学生を対象に、交通安全対策を通じて、生命の大切さを考える機会を提供します。スクエア・ドストレイト教育技法(スタントマン)による交通事故を再現することで、自転車のルール違反がなぜ危険なのかを生徒に視覚的に理解させる)を実施し効果を高めます。 また、PTAの参加を得て、交通安全対策の充実を図ります。										重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度		策定時の目標		
						実施目標	実績			
実施状況	市立中学校 1校	市立第二中学校 市立第三中学校 市立第四中学校	市立第六中学校 市立第七中学校	市立第八中学校 市立第九中学校	市立第五中学校 市立浅間中学校	市立第一中学校 市立第二中学校	市立第一中学校 市立第二中学校	市立中学校 全11校		
平成26年度の 担当課評価	目標の1校を達成しており、自転車のルール違反の危険性及び生命の大切さを理解させることができました。									
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	4		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等 当初計画の目標を超える成果を得ることができた。							
備考										

-新規・重点事業-

112 学校施設整備		(目標9 安全・安心のまちづくりの推進)						総務課
学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場として、豊かな人間性をはぐくむにふさわしく、快適で十分な安全性などを備えた安全・安心なものでなければなりません。このため、早急に施設の耐震化に取り組むとともに、新たなニーズに対応(ユニバーサルデザインを考慮)した教室の整備を推進します。		重点						
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	小学校耐震実施設計 5校 小学校耐震補強工事 6校 小学校改築工事実施 設計 1校 中学校耐震実施設計 3校 中学校耐震補強工事 4校 中学校改築に伴う仮 設校舎築造及び既存 校舎解体 1校	小学校耐震補強工事 5校 小学校改築工事 1校 中学校耐震補強工事 1校 中学校改築工事 1校	小学校耐震補強工事 5校 小学校改築工事 1校 中学校耐震補強工事 1校 中学校改築工事 1校	小学校耐震補強工事 6校 小学校改築工事 1校 中学校耐震補強工事 3校 中学校改築工事 1校	小学校耐震補強工事 2校 小学校改築工事 1 校 中学校耐震補強工事 2校	小学校非構造部材 耐震化工事の実施 工事等を検討 中学校非構造部材 耐震化工事の実施 工事等を検討		全ての学校の耐震化 の終了
平成26年度の 担当課評価	平成25年度を以って校舎の耐震化を終了したことから、天井等の非構造部材の耐震化を図ります。 平成25年度に全校を対象に行った非構造部材の調査を基に、平成27年度に行う非構造部材耐震化工事の内容や実施方法等を検討することができました。 平成27年度は全小中学校で非構造部材耐震化工事を行います。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	3		目標達成状況 (評価)及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画どおりに目標を達成することができた。							

-新規・重点事業-

113 公園・緑地(再掲)		(目標9 安全・安心のまちづくりの推進)					公園緑地課	
		市内のどこからでも歩いていける範囲に公園があることを目指し、公園の整備を進めます。街区公園など地域に密着した公園は、コミュニティの場として活用できるように、地域の人びとが主体となった管理・運営を行います。また、子どもが安心して楽しく利用できるよう、安全に配慮した遊具等の設置や安全管理、砂場などの衛生管理を行います。					公園緑地課 重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		策定時の目標
		実績	実績	実績	実績	実施目標	実績	
実施状況	181ha (市面積の6.34%)	老朽化が激しい木製複合遊具の取替え(1公園)や砂場殺菌(全公園)を実施できました。	老朽化が激しい木製複合遊具の取替え(1公園)や改修(2公園)工事、また、砂場殺菌(全公園)を実施できました。	遊具の新設(2公園)工事や砂場殺菌(全公園)を実施できました。	老朽化の激しい木製遊具の取替えを3公園にて行った。また、砂場の砂殺菌、補完作業を全公園にて行った。	老朽化した公園遊具などの改修や取替え工事を行う。また、砂場の砂殺菌、補完作業を行う。	老朽化した公園遊具の補修28、ベンチの取替え25の工事を行う。また、砂殺菌、補完作業を全公園にて行った。	子どもが安心して楽しく利用できる公園整備
平成26年度の 担当課評価	大きな改修はできませんでしたが、維持管理のための補修を多くの公園で実施し、予算の範囲内で概ね目標は達成できました。また、公園巡回や安全点検を行い、老朽化の激しい遊具や危険箇所等の発見に努めました。							
計画期間中 (平成22～26年度) の取組に対する 担当課評価	2		目標達成状況 (評価0及び1の場合のみ記入) 目標を達成できなかった要因や実施した代替策等					
備考	当初計画からやや変更はあったが、概ね目標を達成することができた。							

#### 4 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等(評価指標)



目標2 地域における子育て支援									
評価指標									
現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考		
1 子育てについて気軽に相談できる近所の人 がいる保護者の割合(市民意向調査)	18.1%	15.6%	14.6%	14.6%	14.6%	増加			
2 子育てひろば「ポップコーン」実施会場数	20.7%	18.3%	17.6%	17.6%	6会場	11会場	ポップコーン・パパ(市立保育所5か所)を含まず		
3 子育てひろば事業実施施設数	6施設(H21)	7施設	9施設	8施設	8施設	8施設	A型の施設数を指標としている H25 B型1施設・C型2施設		
4 保育所地域交流事業実施施設数	16か所/月1回 (H18)	15か所/週1回 1か所/月3回	15か所/週1回 1か所/月3回	15か所/週1回 1か所/月3回	15か所/週1回 1か所/月3回	16か所 月2回以上			
5 安心して子どもを産み育てることができる と感じている市民の割合(市民意識調査結果)	35.4%(H18)	41.1%	46.8%	47.0%	48.4%	50.0%以上			

目標3 保育サービスの充実									
評価指標									
現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考		
1 希望した時期に保育サービスを利用できた人の割合(市民意向調査)	42.8%	47.2%	54.1%	54.1%	54.1%	増加			
2 認可保育所待機児童数	301人(H21)	252人	182人	181人	233人	0人	国基準(認可外保育所入所者を含まない)		
3 ファミリー・サポート・センター事業会員数	1,107人(H18)	1,440人	1,426人	1,506人	1,714人	1,300人			
4 一時預かり事業を実施する施設数	10施設(H18)	13施設	14施設	15施設	17施設	15施設			
5 認可保育所入所定員数	3,589人(H21)	4,025人	4,336人	4,378人	4,518人	4,343人			
6 午後7時以上の延長保育を実施する施設数	全施設	全38施設	全41施設	全41施設	全42施設	全施設			
7 出産前後に離職した人で、「保育サービス が整っていたら就労を継続していた」と回答 する人の割合(市民意向調査)	30.4%	29.6%	30.1%	30.1%	30.1%	減少			
	26.0%	34.3%	31.3%	31.3%	31.3%				

目標4 母と子どもとの健康支援									
評価指標									
現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考		
1 定期予防接種の接種割合	BCG 98.2%(H18) ポリオ 92.9%(H18) MR 93.9%(H18)	98.1% 94.4% 96.4%	95.5% 73.1% 91.7%	94.6% 91.6% 91.2%	84.3% 83.4% 94.5%	100%	ポリオは四種混合ワクチンへ移行のためH26の 接種率の算定無し		
2 健康診査を受診した割合	3~4か月児健康診査 97.0% 1歳6か月児健康診査 96.1% 3歳児健康診査 93.0%	97.9% 94.1% 92.5%	97.1% 95.4% 95.1%	97.1% 95.2% 93.3%	96.4% 97.2% 95.6%	100%			
3 朝食をほぼ毎日食べる子どもの割合(市民意向調査)	96.8%	97.8%	94.8%	94.8%	94.8%	増加			

目標5 ひとり親家庭への支援									
評価指標									
現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考		
1 子育てを楽しいと感じる親の割合(市民意向調査)	43.6%	53.3%	45.5%	45.5%	45.5%	増加			
2 母子自立支援相談件数	2,534件(H18)	2,415件	2,465件	2,491件	2,518件	増加			
3 母子家庭自立支援教育訓練給付金支給者数	年9人(H18)	年3人	年2人	年1人	年0人	増加	国・都が実施しているより有利な類似制度への 連携を実施		
4 母子家庭高等技能訓練促進費支給者数	年4人(H18)	年11人	年19人	年11人	年8人	増加			
5 子育てについて気軽に相談できる人がいるひとり親家庭の保 護者の割合(市民意向調査)	78.2%	79.7%	72.4%	72.4%	72.4%	増加			
6 児童扶養手当の一部支給の割合	46.3%	45.1%	42.2%	42.3%	41.5%	増加			

目標6 障害のある子どもと家庭への支援												
評価指標		現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考			区分
1	健康診査を受診した割合	3～4か月児健康診査	97.0%	97.1%	97.1%	96.4%	97.9%	100%				
		1歳6か月児健康診査	96.1%	95.4%	95.2%	97.2%	97.5%					
		3歳児健康診査	93.0%	92.5%	93.3%	95.6%	96.3%					
2	要支援の疑いがある乳幼児を関係機関へつなげていた割合	76.4%	89.1%	92.0%	85.0%	91.5%	93.4%	増加				

目標7 次代を担う人の育成と教育の充実												
評価指標		現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考			区分
1	特別な支援を必要とする児童・生徒の指導に関する研修を受けた教員の数	33人(H18)	39人	63人	45人	122人	122人	510人	目標は計画期間(5年)の延べ人数			
		356回(H18)	358回	359回	356回	354回	333回	396回				
2	青少年対策地区委員会の活動回数	23.4%		22.3%		19.8%		減少				
		15時間(H18)	3・4年 15時間 5・6年 25時間	3・4年 20時間 5・6年 25時間	3・4年 10時間 5・6年 25時間	3・4年 18時間 5・6年 25時間	3・4年 18時間 5・6年 25時間	35時間	校長裁量により時間数の増減有			
3	子どもが学校でいじめを受けたことがある割合(市民意向調査)	65.8%(H18)	60%	55%	74%	69%	70%	90%以上				
		35.2%(H18)						50%以上	東京都食育推進計画より(H22が最終調査、H22の調査結果はH18と回答方法が異なるため評価不可)			
4	家庭での食事や生活を通じて、自分の子どもが健康的な食習慣を身に付けていくことができると思う保護者の割合(健康的な食習慣の実施率)	88.7%		94.3%		93.2%		増加				
		81.4%		83.4%		91.6%						
7	朝食をほぼ毎日食べる割合(市民意向調査)	中学生										
		高校生										

目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進												
評価指標		現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考			区分
1	仕事時間とプライベート等生活時間の現実と希望の差(「仕事時間の優先」度の現実と希望との差)(市民意向調査)	就学前児童	17.8ポイント	12.3ポイント		17.8ポイント		減少				
		小学生	22.3ポイント	14.3ポイント		13.8ポイント						
2	父親の子育てのかかわり方が協力的であると答えた母親の割合(市民意向調査)	就学前児童	50.0%	48.2%				増加	H25の設問内容が現状(H20)及びH23と異なるため評価不可			
		小学生	40.1%	42.5%				75%以上				
3	性別による役割分担意識にとらわれない人の割合	49.4%(H18)	50.6%			52.9%						
		33.8%		41.2%		35.3%		減少				
4	出産前後に離職した人で、「職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば継続して就労していた」と回答する人の割合(市民意向調査)	31.8%		33.2%		33.3%						

目標9 安全・安心のまちづくりの推進												
評価指標		現状	H22	H23	H24	H25	H26	目標	備考			区分
1	15歳以下の交通人身事事故発生件数	33人	15人	25人	21人	15人	15人	減少				
2	子どもの交通事故死傷者数	193人	135人	96人	70人	61人	55人	減少				

市民意向調査による平成23年度の数値については、各調査の対象者の年齢構成の比が前回(平成20年度)の調査と同様となるよう補正した数値を採用しています。

## 5 参考（府中市子ども・子育て審議会について）

### （1）府中市子ども・子育て審議会開催記録

回	開催日	主な内容
第2回	平成27年8月3日（月）	府中市次世代育成支援行動計画事業の実施状況と評価等

府中市次世代育成支援行動計画の平成26年度の進捗状況について報告を行なった審議会の開催についてのみ記載しています。

## (2) 府中市子ども・子育て審議会条例

### (趣旨)

第1条 この条例は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第77条第1項及び第3項の規定に基づき、府中市子ども・子育て審議会（以下「審議会」という。）を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (用語)

第2条 この条例において使用する用語は、法において使用する用語の例による。

### (所掌事務)

第3条 審議会は、法第77条第1項に規定する事務を処理するほか、市長の諮問に応じ、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第34条の15第4項の規定により同条第2項の認可に際し意見を述べ、並びに地域の子ども及び子育て家庭の実情を十分に踏まえつつ、子ども・子育て支援に関する事項について調査審議する。

### (組織)

第4条 審議会は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する委員（臨時委員を除く。次条、第7条第1項及び第9条第2項において同じ。）20人以内をもって組織する。

- (1) 子どもの保護者
- (2) 事業主を代表する者
- (3) 労働者を代表する者
- (4) 子ども・子育て支援に関する事業等に携わる者
- (5) 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者
- (6) 公募による市民

### (委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (臨時委員)

第6条 審議会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が委嘱する。

3 臨時委員は、当該特別の事項の調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

### (会長及び副会長)

第7条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれらを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、過半数の委員の出席がなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第9条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。

3 審議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって審議会の議決とすることができる。

(委員以外の者の出席)

第10条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(委任)

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年12月府中市条例第28号)の一部を次のように改正する。

別表第1に次のように加える。

子ども・子育て審議会委員	日額 11,000円
--------------	------------

付 則(平成27年3月13日条例第10号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

## (3) 府中市子ども・子育て審議会委員名簿

平成27年8月3日現在

(選出区分別の50音順・敬称略)

	氏名	選出区分	役職名等	備考
1	せき さちこ 関 幸子	子どもの保護者 (公募市民)		
2	やまざき ふみえ 山崎 史衣	子どもの保護者 (公募市民)		
3	たなか ひとし 田中 仁志	子どもの保護者	府中市立小中学校PTA連合会 庶務幹事	
4	うすい ただし 臼井 正	事業主代表	むさし府中商工会議所 常議員	
5	ながさき よしはる 長崎 益治	労働者代表	連合三多摩・東部第二地区協議会 幹事 (東芝労働組合府中支部 書記長)	
6	あさめま けんいち 浅沼 賢一	子ども・子育て支援 関連団体	府中市立中学校長会 (府中市立浅間中学校 校長)	
7	いむら よしひで 井村 良英	子ども・子育て支援 関連団体	認定NPO法人 育て上げネット 若年支援事業部担当部長	
8	おくち りえ 小口 理絵	子ども・子育て支援 関連団体	社会福祉法人 府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課 職員	
9	きのした よしあき 木下 義明	子ども・子育て支援 関連団体	府中市私立保育園園長会 副会長 (分倍保育園 園長)	
10	さかた えつろう 坂田 悦郎	子ども・子育て支援 関連団体	府中市立小学校長会 (府中市立矢崎小学校 校長)	
11	たなか こう 田中 公	子ども・子育て支援 関連団体	東京都認証保育所府中市連絡会 会長 (田中保育所 代表)	
12	つのだ みちよ 角田 美千代	子ども・子育て支援 関連団体	NPO法人 じーばーとあそぼ 理事長	
13	とみた かずこ 富田 和子	子ども・子育て支援 関連団体	NPO法人 パーソナルケアサービスみもざ 代表	
14	なかだ なるひこ 中田 徳彦	子ども・子育て支援 関連団体	府中市青少年委員会 指導部長 (府中天神町幼稚園 園長)	
15	はたけやま きょうこ 畑山 恭子	子ども・子育て支援 関連団体	社会福祉法人 多摩同胞会 子ども家庭支援センターたち センター長	
16	ひらた よしゆき 平田 嘉之	子ども・子育て支援 関連団体	府中市私立幼稚園協会 会長 (府中白糸台幼稚園 園長)	副会長
17	みやざき さだお 宮崎 貞男	子ども・子育て支援 関連団体	府中市自治会連合会 福祉対策部長	
18	よこやま としこ 横山 年子	子ども・子育て支援 関連団体	府中市民生委員児童委員協議会 代表会長	
19	しおみ としゆき 汐見 稔幸	学識経験者	白梅学園大学 学長	会長
20	さとう はなよ 佐藤 花代	公募市民		



平成26年度府中市次世代育成支援  
行動計画事業の進捗状況等報告書

平成27年10月

発行：府中市子ども家庭部子育て支援課